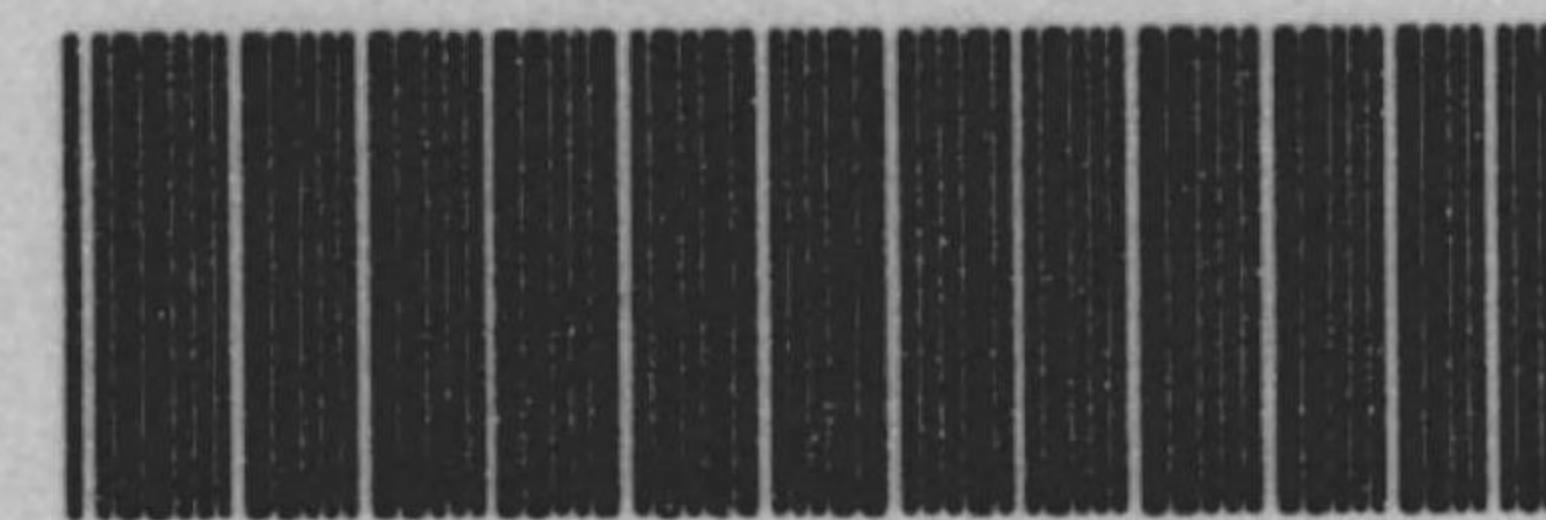


特269
125



0009338000

0009338-000

特269-125

松阪市例規類集

松阪市役所

昭和10

ABI

納本

特269
125



特269
125



例規類集



松阪市例規類集目次

松阪市例規類集目次

第一類 公告式、公報

- 松阪市公告式條例……………一
- 松阪市公報發行規程……………三

第二類 市會、參事會

- 松阪市會々議規則……………五
- 松阪市會傍聽人取締規則……………一五
- 市會ニ於テ用ユル投票用紙式ノ件……………一七
- 市參事會委任事項……………一九
- 松阪市參事會々議規則……………二一

第三類 選舉

- 市會議員選舉投票分會設定ノ件……………二三

市會議員選舉投票用紙式ノ件……………二二五
 議員選舉資格者調査ニ關スル規程……………二二七
 議員選舉資格者調査員心得……………二一九

第四類 吏員

組織

松阪市臨時委員設置組織條例……………三三三
 松阪市學務委員組織規程……………三七七
 松阪市實業補習教育委員設置規程……………三九九
 松阪市區長設置規程……………四一四
 松阪市有給吏員定數規程……………四四五
 處務
 松阪市役所處務規程……………四七七
 松阪市役所神戸出張所處務規程……………七七七
 吏員警備ニ關スル規程……………八一八
 松阪市吏員事務引繼規程……………八三三

給與

松阪市給與條例……………八五五
 松阪市有給吏員其ノ他給與ニ關スル規程……………九五九
 松阪市有給吏員退職料退職給與金遺族扶助料條例……………九七七
 松阪市有給吏員退職料退職給與金遺族扶助料支給細則……………一一一

第五類 產業

松阪市農家組合(又ハ生産組合)事業獎勵金交付規程……………一二七
 松阪市養豚獎勵金交付規程……………一二九
 松阪市自作農地創定維持資金貸付規程……………一三一
 松阪市產業統計調査規程……………一四九

第六類 學事

小學校授業料徵收規程……………一五三
 松阪市立實科專修女學校授業料徵收規程……………一五五
 松阪市立神戸實業補習學校授業料徵收規程……………一五七

松阪市幼稚園保育料徴收規程……………一五九

松阪市貧困兒童就學獎勵金交付規程……………一六一

青年訓練所給與規程……………一六三

松阪市記念館規程……………一六五

第七類 衛生

松阪市消毒所使用料條例……………一六九

松阪市屠場使用料條例……………一七三

松阪市消毒所管理並使用料條例施行細則……………一七五

第八類 社會事業

松阪市公會堂使用料條例……………一七九

松阪市診療所使用料條例……………一八一

松阪市營公益質屋條例……………一八三

松阪市公會堂使用料條例施行細則……………一八五

松阪市診療所使用料條例施行細則……………一八七

松阪市診療所規程……………一九一

第九類 稅務

松阪市特別稅戶數割條例……………二一七

松阪市督促手數料條例……………二二一

松阪市特別稅觀覽稅條例……………二二三

松阪市附加稅賦課徵收規程……………二二七

松阪市特別稅觀覽稅條例施行細則……………二三一

市稅延滯金ノ割合ニ關スル件……………二三五

松阪市納稅組合設置獎勵規程……………二三七

第十類 財務

松阪市手数料徴収條例……………二三九

松阪市基本財産蓄積條例……………二四五

松阪市小學校基本財産蓄積條例……………二五七

松阪市實業補習學校基本財産蓄積條例……………二七五

松阪市幼稚園基本財産蓄積條例……………二九三

松阪市罹災救助資金蓄積條例……………三〇九

松阪市社會事業資金積立金設置規程……………三一五

三井家社會施設救濟事業資金設置規程……………三一七

松阪市原田小學教育獎勵資金設置規程……………三一九

松阪市基本財産積立金管理規程……………三二一

松阪市原田小學教育獎勵資金管理規程……………三二三

松阪市罹災救助資金管理方法……………三二五

松阪市財產並不用品賣却等隨意契約規程……………三二七

松阪市金庫規則……………三二九

松阪市金庫事務取扱規程……………三三三

市金庫事務取扱銀行ノ件……………三四七

第十一類 警備

松阪市消防組規程……………二四九

松阪市消防組規程ニ依ル旅費ノ減額ニ關スル規程……………三五九

第十二類 土木

堤塘道路井溝占用料金徴收規程……………三六一

松阪市工事執行規程……………三六三

松阪市工事執行細則……………三六九

第十三類 公園

公園使用料條例……………三七九

公園管理規則……………三八一

第十四類 港

松阪港上屋使用料條例……………三八五
 松阪港市營上屋使用料條例施行細則……………三八九
 松阪港務所及埋立地管理事務所規程……………三九三

第一類 公告式 公報

松阪市公告式條例

(昭和八年四月二十日決議
昭和八年四月二十八日條例第一號)

第一條 本市ノ條例規則其ノ他公告スヘキ事項ハ本市役所前揭示場ニ揭示スルヲ以テ公告式トス

第二條 公告ニハ總テ揭示ノ年月日ヲ記載シ市長之ニ署名ス

第三條 條例規則其ノ他施行ヲ要スルモノハ公告ノ日ヨリ起算シ三日ヲ經テ之ヲ施行ス但シ特ニ施行期日ヲ定メタルモノハ此ノ限ニ在ラス

附 則

本條例ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

松阪市公報
第一條 本市ハ市自治ノ向上發達ヲ促進セシメ市政ノ大要ヲ一般ニ周知セシムル目
的ヲ以テ市公報ヲ發行ス
第二條 市公報ハ定期トシテ毎月一日、十五日二回發行ス但シ必要ニ應シ定期以外
ニ發行スルコトアルベシ
第三條 市公報ニ登載スヘキ事項左ノ如シ
一 條例
二 規程
三 告示
四 論告
五 達
六 公告
七 通報

松阪市公報發行規程

(昭和八年二月一日告示第六號
同 六月十九日規程第十號改正)

松阪市公報發行規程

- 第一條 本市ハ市自治ノ向上發達ヲ促進セシメ市政ノ大要ヲ一般ニ周知セシムル目的ヲ以テ市公報ヲ發行ス
- 第二條 市公報ハ定期トシテ毎月一日、十五日二回發行ス但シ必要ニ應シ定期以外ニ發行スルコトアルベシ
- 第三條 市公報ニ登載スヘキ事項左ノ如シ
 - 一 條例
 - 二 規程
 - 三 告示
 - 四 論告
 - 五 達
 - 六 公告
 - 七 通報

八 會議

九 彙報

二 其ノ他市長ニ於テ必要ト認ムル事項

第四條 市公報ヲ配付スヘキ範圍ハ市長ノ定ムル所ニ依ル

附 則

本規程ハ昭和八年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二類 市會 參事會

松阪市會會議規則

(昭和八年三月二十四日決議
三十日改正)

第一章 總則

第一條 議員ハ招集ノ告知ニ指定シタル日時ニ議場ニ參集スヘシ

第二條 議員ノ席次ハ總選舉毎ニ抽籤ヲ以テ之ヲ定メ各席ニハ番號ヲ附ス

補缺又ハ補充選舉ニ依リ當選シタル議員ハ前任議員ノ議席ニ着キ増員ノ場合ハ最終ニ其ノ議席ヲ加フ但シ二名以上同時ニ當選シタル議員アルトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第三條 會議ハ午前九時ニ始マリ午後六時ニ終ル但シ時宜ニ依リ議長ハ之ヲ變更スルコト

第四條 開議ハ振鈴ヲ以テ之ヲ報シ散會延會 中止ハ 長之ヲ宣告ス

第五條 議長ノ開議宣告則及散會延會又ハ中止ノ宣告後ハ何人モ議事ニ關シ發言スルコトヲ得ス

第六條 開會定刻後相當ノ時間ヲ經ルモ尙出席議員定數ニ充タサルトキ又ハ議事中

退席者アリテ定數ヲ缺キタルトキハ議長ハ延會又ハ中止ヲ宣告スヘシ

第七條 議事ヲ開クトキハ議長ハ書記ヲシテ議案ヲ朗讀セシムヘシ但シ議長ハ便宜議案ノ朗讀ヲ省略スルコトヲ得

第二章 議事日程

第八條 議長ハ議事日程ヲ定ムルノ必要アリト認ムルトキハ會議ノ終リニ於テ之ヲ報告スヘシ但シ初日ノ會議ニ於テハ議事ヲ始ムル前ニ之ヲ報告スヘシ

第九條 議事日程ニハ其ノ會議ニ附スヘキ事件及順序ヲ定ムヘシ

第十條 議事日程變更ノ動議成立シ又ハ議長ニ於テ變更スルノ必要ヲ認ムルトキハ會議ニ諮ヒ討論ヲ用弗シテ之ヲ決スヘシ

第十一條 議事日程ニ定メタル事件ノ議了ニ至ラサルトキハ議長ハ更ニ其ノ日程ヲ定メテ會議ニ報告スヘシ

議事日程ニ定メタル事件ヲ議了シタルトキハ議長ハ會議ニ諮ヒ更ニ日程ヲ追加スルコトヲ得

第三章 發議及動議

第十二條 議員發議セムトスルトキハ文案ヲ具ヘ豫メ議長ニ提出スヘシ但シ事件ノ簡易ナルモノ又ハ緊急ヲ要スルモノハ文案ヲ省略シ議場ニ於テ陳述スルコトヲ得

發議ハ議員二名以上ノ賛成者アルニ非サレハ議題ト爲スコトヲ得ス

第十三條 動議ハ議員二名以上ノ賛成者アルニ非サレハ議題ト爲スコトヲ得ス

議案ニ對スル修正ノ動議ハ第二讀會又ハ第三讀會ニ於テ議員二名以上ノ賛成者アルニ非サレハ議題トナスコトヲ得ス但シ議案中互ニ抵觸スル事項又ハ法律命令條例規則ニ抵觸スル事項ニ付テハ此ノ限リニ在ラス

第十四條 動議ハ議場ニ於テ陳述シ若ハ文案ヲ具ヘテ議長ニ提出スヘシ議長ニ於テ必要ト認ムルトキハ文案ノ提出ヲ要求スルコトヲ得

第十五條 提出者ノ撤回シタル發議及動議ハ他ノ議員定規ノ賛成者ト共ニ之ヲ維持スルコトヲ得

第十六條 否決シタル事件ハ同一會期中再ヒ提出スルコトヲ得ス

第四章 讀會

第十七條 議事ハ第一第二第三ノ讀會ヲ經テ確定ス但シ議長ノ意見又ハ議員ノ要求ニ依リ會議ニ諮ヒ讀會ヲ省略スルコトヲ得

第十八條 議案ニ對シ疑義アルトキハ第一讀會ニ於テ質問スヘシ但シ第二讀會以後ト雖特ニ議長ノ許可ヲ得テ質問スルコトヲ得

第十九條 第一讀會ニ於テハ議案全體ニ付討論シ第二讀會ヲ開クヘキヤ否ヤヲ決ス

ヘシ

第二讀會ヲ開クヘカラスト決シタルトキハ其ノ議案ヲ廢棄シタルモノトス

第二十條 第二讀會ニ於テハ議案ヲ逐條審議スヘシ

議長ハ逐條審議ノ順序ヲ變更シ又ハ條節ヲ分合審議セシムルコトヲ得但シ議員二名以上ノ異議アルトキハ會議ニ諮ヒ討論ヲ用井スシテ之ヲ決スヘシ

第二十一條 第三讀會ニ於テハ議案全體ノ可否ヲ議決スヘシ

第二十二條 議案ノ調査ヲ委員ニ附託シタルトキハ其ノ報告ヲ俟テ之ヲ審議スヘシ前項ニ依ル委員附託第一讀會ナル場合ニ於テ原案修正ノ報告アリタルトキハ其ノ報告ヲ以テ第二讀會ヲ開キタルモノト看做ス

第五章 討論

第二十三條 發言セムトスルトキハ起立シテ「議長」ト呼ビ自己ノ議席番號ヲ告ケ議長ノ許可ヲ得テ發言スヘシ二名以上同時ニ發言ヲ求ムルトキハ議長ハ其ノ一名ヲ指シテ發言セシムヘシ

第二十四條 討論ハ總テ議長ニ對シ之ヲ爲スヘシ討論ハ議題外ニ涉ルコトヲ得ズ議長ニ於テ討論議題外ニ涉リ又ハ不必要ト認ムルトキハ之ヲ制止スルコトヲ得但シ制止ニ對シ二名以上ノ異議アルトキハ會議ニ諮

ヒ討論ヲ用キスシテ之ヲ決スヘシ

第二十五條 議長ハ討論ノ終結ヲ宣告ス

議長ノ宣告ニ對シ二名以上ノ異議アルトキ又ハ討論終結ノ動議成立シタルトキハ議長ハ會議ニ諮ヒ討論ヲ用キスシテ之ヲ決スヘシ

第二十六條 議長議員トシテ討論セムトスルトキハ其ノ旨ヲ告ケ議長席ヲ副議長ニ譲リ議員席ニ着キ發言スヘシ

第六章 表決

第二十七條 議長採決セムトスルトキハ其ノ問題ヲ會議ニ宣告スヘシ

第二十八條 議長採決ヲ宣告シタル後ハ何人モ其ノ議題ニ就キ發言スルコトヲ得ス

第二十九條 表決ノ際議場ニ現在スル議員ハ可否ノ數ニ加ハラサルコトヲ得ス表決ノ際議場ニ現在セサル議員ハ表決ニ加ハルコトヲ得ス

第三十條 修正案ハ原案ニ先チテ採決スヘシ

同一ノ議題ニ付數個ノ修正案提出セラレタル場合ニ於テハ原案ニ最モ遠キモノヨリ順次採決スヘシ議員二名以上ノ異議アルトキハ會議ニ諮ヒ討論ヲ用キスシテ之ヲ決スヘシ

第三十一條 修正案總テ否決セラレタルトキハ原案ニ付採決スヘシ

第三十二條 採決ハ起立又ハ舉手ニ諮ヒ議長其ノ結果ヲ宣告スヘシ

前項採決ノ結果ニ疑ヒアルトキ又ハ議長ノ宣告ニ對シ議員二名以上ノ異議アルトキハ議長ハ書記ヲシテ議員ノ席次番號ヲ點呼セシメ議員ハ起立シテ可否ヲ表スヘシ

議長ニ於テ必要ト認ムルトキ又ハ動議アルトキハ會議ニ諮ヒ記名又ハ無記名投票ヲ以テ表決ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十三條 議長ニ於テ附議事項ヲ宣告シタル後議員中發言者ナキトキハ議長ハ異議ナキモノト認メ其ノ決定ヲ宣告スルコトヲ得

議員二名以上ノ異議アルトキハ會議ニ諮ヒ討論ヲ用井スシテ之ヲ決スヘシ

第三十四條 議員ハ自己表決ノ更正ヲ求ムルコトヲ得ス

第七章 委員

第三十五條 各議會ニ於テ議案其ノ他ノ事件ヲ調査、修正、起案セシムル爲必要アルトキハ議長ノ意見又ハ動議ニ依リ會議ニ諮ヒ委員ヲ設クルコトヲ得

前項ノ委員ニハ其ノ附託シタル事件ニ連繫スル他ノ事件ヲ併テ附託スルコトヲ得

第三十六條 委員ノ數ハ三名以上ノ奇數トシ其ノ員數及委員會ノ報告期限ハ會議ノ議決ニ依リ之ヲ定ムヘシ但シ之カ指定ヲ便宜議長ニ委任スルコトヲ得

第三十七條 委員ハ議員中ヨリ之ヲ選舉ス

委員ノ選舉ハ單記無記名投票ヲ以テシ票投ノ多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス得

票同數ナルトキハ年長者ヲ採リ年齡同シキトキハ議長抽籤シテ之ヲ定ム

前項ノ選舉ニ付議員中異議ナキトキハ指名推薦ノ法ヲ用フルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ被指名者ヲ以テ當選者ト定ムヘキヤ否ヲ會議ニ付シ議員全員ノ同意ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス

第三十八條 委員會ハ委員長一名ヲ互選シテ之ヲ議長ニ報告スヘシ

委員長ハ委員會ノ議事ヲ整理シ其ノ經過及結果ヲ會議ニ報告スヘシ但シ委員會ニ於ケル少數意見ハ別ニ之ヲ報告スルコトヲ得

第三十九條 委員會ノ修正案及起草案ハ賛成者ヲ俟タスシテ議題ト爲スヘシ

第四十條 委員ハ正當ノ事由ナクシテ其ノ任ヲ辭スルコトヲ得ス

第四十一條 委員會ハ會議ニ於テ附託シタル事件ノ外ニ涉ルコトヲ得ス

第四十二條 委員會ハ委員半數以上出席スルニ非サレハ議決ヲ爲スコトヲ得ス

委員會ノ議事ハ出席員ノ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ委員長ノ決スル所ニ依ル過半數ヲ得サルトキハ多數ヲ以テ之ヲ決ス但シ此ノ場合ニ於テハ其ノ事由ヲ會議ニ報告スヘシ

第四十三條 市長及其ノ委任又ハ囑託ヲ受ケタル者ハ委員會ノ議事ニ參與スルコトヲ得但シ議決ニ加ハルコトヲ得ス

第四十四條 委員ニ附託シタル事件ノ發案者發議者若ハ勸議者ハ其ノ委員會ニ出席シテ説明スルコトヲ得但シ議決ニ加ハルコトヲ得ス

第四十五條 委員會故ナク其ノ報告ヲ遲延スルトキハ會議ノ議決ヲ經テ改選スルコトヲ得

第四十六條 委員會ノ議事ハ議員ヲ除クノ外傍聽ヲ許サス但シ委員會ノ議決ニ依リ議員ノ傍聽ヲモ禁スルコトヲ得

第八章 小會議

第四十七條 市長ノ請求議長ノ意見若ハ會議ノ決議ニヨリ協議又ハ內議ヲ要スルトキハ全議員ヲ委員トシテ小會議ヲ開クコトヲ得但シ傍聽ヲ許サス

第四十八條 小會議ハ適宜議長之ヲ整理シ討論表決スヘシ

第九章 會議錄

第四十九條 會議錄ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一、開會閉會ニ關スル事項及其ノ年月日時場所

二、開議散會等ニ關スル事項及其ノ年月日時

三、出席缺席遲參又ハ會議中退場シタル議員ノ番號氏名

四、議事ニ參與シタル者ノ公職氏名

五、書記ノ氏名

六、會議ニ附シタル事件

七、諸般ノ報告

八、發議動議及質議應答ノ要領

九、採決ノ方法及可否表決數

十、議決及選舉ノ顛末

第十章 秩序

第五十條 議員缺席セムトスルトキハ當日開會時刻迄ニ其ノ事由ヲ議長ニ届出ツヘシ

第五十一條 會議中着席シ又ハ退席セムトスル議員ハ議長ニ通告スヘシ

第五十二條 議員ハ議場ニ於テハ靜肅ヲ守リ猥ニ離席シ議事ノ妨害ト爲ルヘキ言動アルヘカラス

第五十三條 議員市制並本規則ニ違反シタル所爲アルトキハ會議ノ議決ニ依リ五日

以内出席ヲ停止スルコトアルヘシ

第十一章 雜則

第五十四條 本規則ノ疑議ハ議長之ヲ決ス但シ議長ハ會議ニ諮ヒ之ヲ決スルコトヲ得

附則

本規則ハ決議ノ日ヨリ之ヲ施行ス

松阪市會傍聽人取締規則

昭和八年三月二十四日決議

第一條 市會ノ傍聽ヲ爲サムトスル者ハ自己ノ住所氏名ヲ受附係ニ申出テ其ノ指揮ヲ俟チテ傍聽席ニ着クヘシ

第二條 左ニ記載シタル者ハ傍聽ヲ許サス

一、戎器又ハ兇器ヲ携帯シタル者

二、異様ノ服装ヲ爲シタル者

三、風癩、白痴ノ者

四、酩酊シタル者

五、前各號ノ外議長ニ於テ許可スヘカラスト認メタル者

第三條 傍聽人ハ何等ノ事由アルモ議席ニ入ルコトヲ許サス

第四條 傍聽席ニ在リテハ靜肅ヲ旨トシ左ニ記載スル事項ヲ確守スヘシ

一、帽子又ハ外套襟卷ノ類ヲ着用スヘカラス

二、杖傘ノ類ヲ携帯スヘカラス

三、飲食喫煙シ又ハ私語スベカラス

- 四、議員ノ言論ニ對シ何等ノ方法ニ依ルモ其ノ可否ヲ表スヘカラス
- 五、喧擾ニ涉リ其ノ他議事ノ妨害ト爲ルヘキ舉動アルヘカラス
- 六、猥リニ離席徘徊スヘカラス
- 前項ニ違反スル者ハ傍聽ヲ禁スルコトアルヘシ
- 第五條 傍聽ヲ禁シタルトキハ直ニ退場スヘシ
- 第六條 傍聽人ハ制限スルコトアルヘシ

附 則

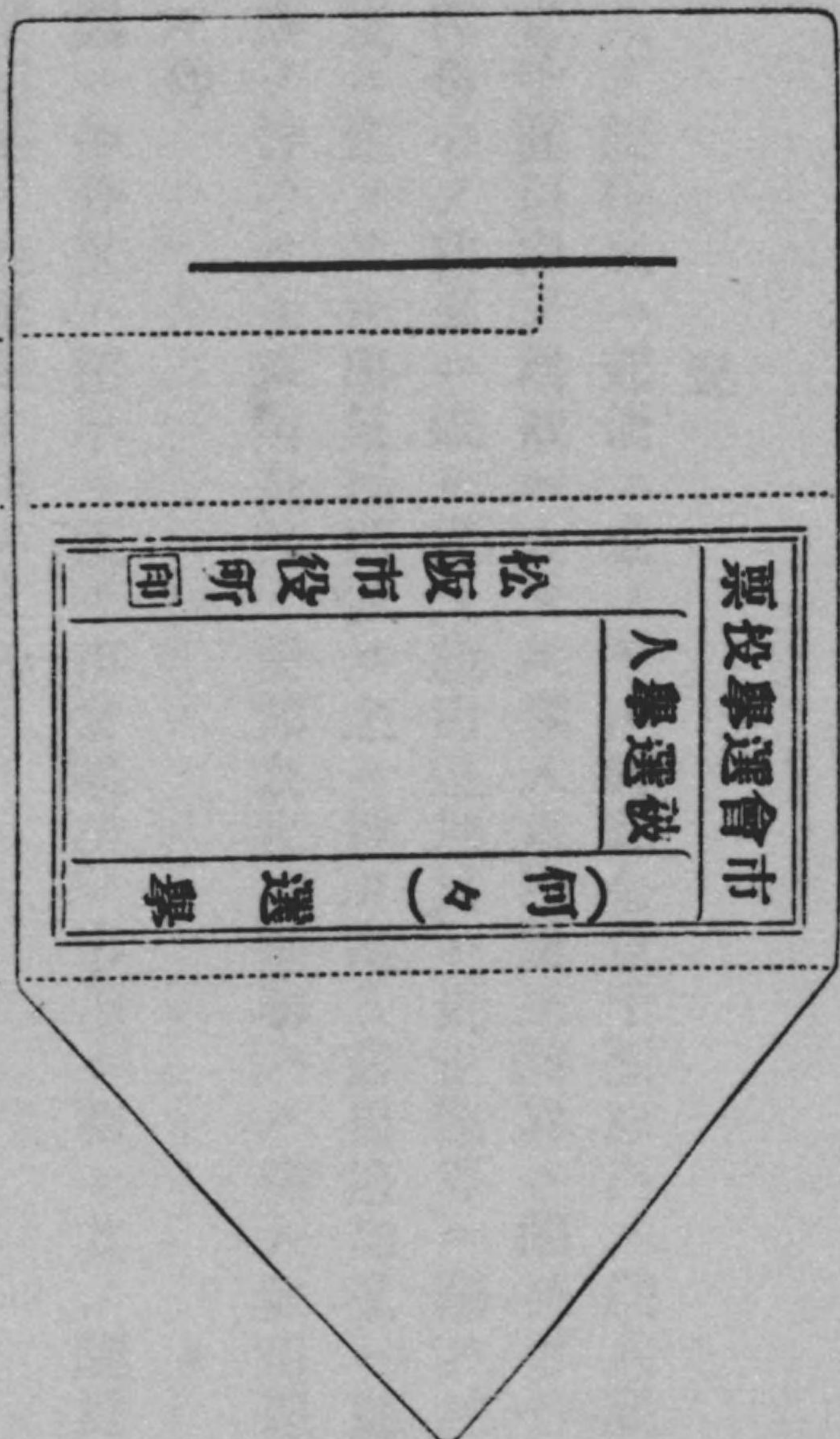
本規則ハ決議ノ日ヨリ之ヲ施行ス

市會ニ於テ用フル投票用紙式ノ件

昭和八年三月二十四日制定

本市會ニ於テ用フル選舉投票用紙ノ式左ノ通り定ム

記



此ノ端ヲ切目ニ差込ムコト

市參事會委任事項

(昭和八年四月二十日決議
同年九月十八日追加決議)

市制第四十三條ニ依リ本市會ハ左記事項ニ關スル議決權ヲ市參事會ニ委任ス

記

- 一、歳入ヲ課税又ハ起債ニ求メサル總額金壹千圓以内ノ歳入歳出追加豫算又ハ總金額壹千圓以内ノ増減ニ止マル歳入歳出更正豫算ニ關スル
- 二、法律命令ノ結果ニ依ル歳入歳出追加又ハ更正豫算ニ關スル件
- 三、年度ニ定メアル事業繰延並ニ之ニ伴フ歳入歳出追加又ハ更正豫算ニ關スル件
- 四、負擔ノ伴ハサル寄附金品ノ受領及之ニ關聯スル歳入歳出追加又ハ更正豫算ニ關スル件
- 五、官廳ノ命令又ハ指示ニ依リ市會議決ノ事項ニ對シ其ノ趣旨ニ反セサル程度ニ於テ字句其ノ他修正ヲ爲スノ件
- 六、公共ノ用ニ供スル事業ノ爲メ市有土地寄附ニ關スル件

- 七、市制第十四條但シ書ニ依ル價格貳千圓以下ノ競争入札ニ付セサル場合ニ於ケル同意ニ關スル件
- 八、井溝使用許可ニ關スル件
- 九、官有地其ノ他不動産ノ無償讓受ニ關スル件
- 十、市有地宅地百坪未滿其ノ他土地貳段步未滿ノ交換若クハ賣却處分ニ關スル件
- 十一、歳入歳出豫算ニ決定セル不動産ノ處分並ニ取得ノ件
- 十二、基本財産積立金及ビ不動産ノ管理ニ關スル件
- 十三、小學校々地擴張ニ關シ行政廳ヨリノ諮問ニ對シ意見答申ノ件

松阪市參事會々議規則

昭和八年四月十八日決議

- 第一條 參事會員ハ招集ノ日時ニ議場ニ參集スヘシ
- 第二條 參事會員缺席スルトキハ開會前議長ニ届出ツヘシ
- 第三條 參事會員ノ席次ハ名譽職參事會員改選後ノ初會議ニ於テ抽籤ニ依リ之ヲ定ム
- 第四條 會議ハ午前九時ニ始メ午後六時ニ終ル但シ議長ハ之ヲ伸縮スルコトヲ得
- 第五條 議事ハ第一、第二、第三ノ讀會ヲ經テ確定スルモノトス但シ議長ハ會議ノ意見ヲ聽キ第二、第三ノ讀會ヲ省略スルコトヲ得
- 第一讀會ハ議案全体ニ就キ質問ヲ爲スモノトス
- 第二讀會ハ逐條ニ就キ審議スルモノトス
- 第三讀會ハ議案全体ニ就キ可否ヲ議決スルモノトス
- 第六條 議事ヲ開クトキハ議長ハ書記ヲシテ議案ヲ朗讀セシムヘシ但シ時宜ニヨリ省略スルコトヲ得
- 第七條 動議ハ賛成者アルニ非サレハ議題ト爲スコトヲ得ス

第八條 意見數個ニ別レルモ過半数ヲ得サルトキハ議長ハ之ヲ再議ニ付スルコトヲ得

第九條 發言セムトスル者ハ議長ト呼ビ自己ノ番號ヲ唱ヘ其ノ反呼ヲ受クヘシ

第十條 採決ハ起立又ハ舉手ニ依ル

第十一條 單純ナル議案ニ對シテハ議長ノ意見ニ依リ第十條ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

第十二條 會議録ニ署名スヘキ會員ハ每會議長之ヲ指名ス

第十三條 會議録ニ記載スヘキ事項概ネ左ノ如シ

- 一、開會閉會ノ年月日時
- 二、出席缺席會員ノ氏名
- 三、會議ニ付シタル議案ノ題目
- 四、議決ノ要領
- 五、右ノ外必要ト認ムル事項

附則

本規則ハ議決ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第三類 選舉

市會議員選舉投票分會設定ノ件

昭和八年二月一日告示第一一號

市會議員選舉ニ付市制第十七條ノ規定ニ依リ左ノ通投票分會ヲ設ク

記

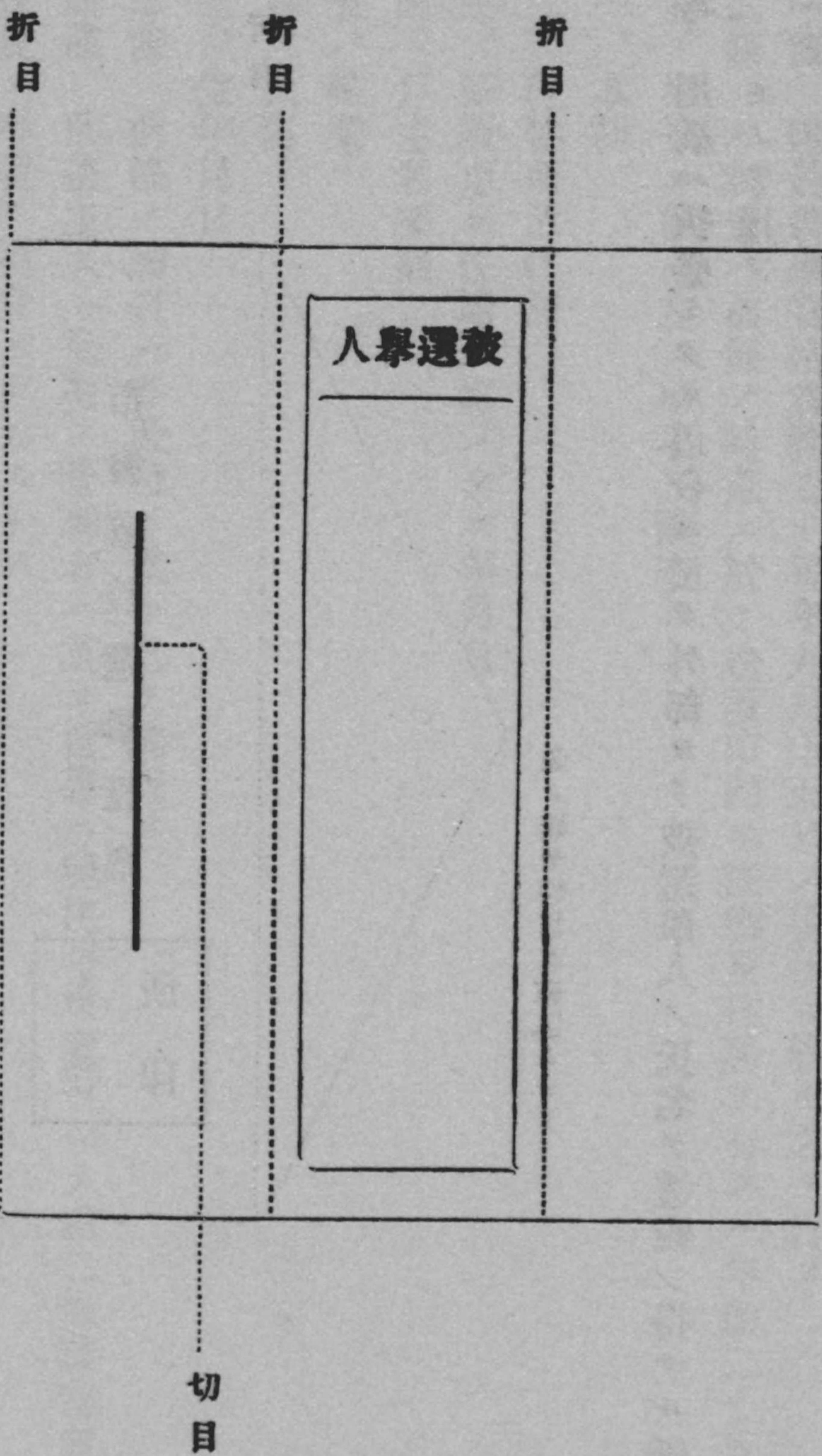
投票分會名	區	劃
第一投票分會	日野町、湊町、愛宕町（元松阪町垣鼻ヲ含ム） 白粉町、新町、黒田町、新座町、西岸江、東岸江	
第二投票分會	上川、下村、久保、垣鼻（元飯南郡神戸村） 田原、大津、幸生、清生	



市會議員選舉投票用紙式ノ件

市會議員選舉投票用紙ノ式左ノ通定ム

昭和八年三月三日告示第一四號



第三類選舉

市會議員選舉投票

市役所印

折目

此ノ端ヲ切目ニ差込ムコト

備考 用紙ハ折疊ミタル場合ニ於テ外部ヨリ被選舉人ノ氏名ヲ透視シ得サル紙質ノモノヲ用フ

議員選舉資格者調査ニ關スル規程

昭和八年八月二十五日規程第十三號

第一條 議員選舉資格者調査ハ毎年九月十五日ノ現在ニ就キ之ヲ行フ

第二條 本調査ハ前條ノ時期ニ於テ松阪市内ニ住所及住居ヲ有スル年齢二十五歳以上ノ男子ニ就キ左ノ事項ヲ調査ス

- 一、本籍
- 二、現住所及住居
- 三、松阪市ニ住居ヲ定メタル年月日
- 四、戸主名續柄
- 五、職業
- 六、氏名
- 七、生年月日

第三條 前條ノ調査ハ各世帯ニ就キ之ヲ調査ス

第四條 世帯主又ハ世帯ノ管理者ハ其ノ世帯ニ現住スル者ニシテ第二條該當者ニ就キ各號ノ事項ヲ調査スルモノトス

第五條 調査ハ豫メ各世帯ニ配付シタル用紙ニ之ヲ記入スルモノトス
第六條 本調査ヲ執行セムカ爲メ各大字ニ調査區ヲ設ケ各登名ノ調査員ヲ置クモノトス但シ調査區ノ數ハ別ニ之ヲ定ム

第七條 調査員ハ毎年各大字區長ニ於テ選定セル候補者ニ就キ市長之ヲ囑託ス

第八條 調査員ハ市長ノ指揮監督ヲ受ケ擔當區内ニ於ケル調査ノ完全ヲ期スルモノトス

第九條 調査員前條ノ職務ヲ執行スル期間ハ九月七日ヨリ九月十三日迄トシ更ニ九月十五日現在ノ本調査ヲ以テ終ルモノトス

第十條 本調査ハ毎年九月二十日迄ニ區長ヲ經テ市長ニ報告スルモノトス

附 則

本規程ハ昭和八年八月二十日ヨリ之ヲ施行ス

議員選舉資格者調査員心得

昭和八年八月二十五日規程第一三號

第一條 調査員ハ市長ノ指揮監督ヲ承ケ調査區ヲ擔當シ左ノ職務ヲ行フ

一、準備調査

一、本調査及報告

第二條 調査員ノ職務執行ニ便ナル爲擔當區内巡回ノ順路ヲ定メ調査ノ際ハ總テコノ順路ニヨルモノトス

第三條 準備調査トシテ左記方法ニ依リ九月七日ヨリ九月十三日迄ニ之ヲ調査ス
第一日

一、巡回ノ順路ニ依リ各世帯ニ付キ世帯人名書各項ヲ調査スルモノトス

二、滿二十五歳以上ノ男子數ニ應シ調査用紙ヲ配付シ調査事項記入方ヲ指導シ次回巡回迄ニ記載シ置クヘキコトニセラルヘシ但シ調査用紙ハ前年ノモノヲ使用ス依テ本年滿二十五歳ニナリタルモノ及新ニ他ノ調査區又ハ他市町村ヨリ轉入シ來リタルモノ、ミ本年ノ調査用紙ヲ配付ス

轉居ノタメ不用トナリタル前年ノ調査書ニ轉居先及年月日ヲ記入シ第九條ノ

報告ト同時ニ之ヲ市長ニ返戻スルモノトス

第二日

一、各世帯ニ付キ前回配付シタル調査用紙ヲ世帯人名書ノ氏名及人員數ト對查シ誤謬脱漏アルトキハ之ヲ質シ文字不明ナルモノ又ハ讀ミ誤リ易キ文字アルトキハ事實ニ就キ訂正スルモノトス

二、世帯人名書ノ人員ト調査用紙ト相違ナキヲ認メタルトキハ之ヲ受取り擔當區内ノ人員ヲ總括スルモノトス

第四條 調査事項ヲ記入シ能ハサル者アルトキハ口頭ヲ以テ調査事項ヲ申告セシメ調査員ニ於テ記入ノ上之ヲ讀ミ聞カセ相違ナキコトヲ期セララルヘシ

第五條 調査ニ際シ世帯員不在ノ爲調査不能ノ場合ハ重ネテ巡回シ之ヲ調査スルモノトス

第六條 調査員自己ノ擔當區ト他ノ調査區トニ重複脱漏又ハ所屬不明ナル地域アリト認メタルトキハ直ニ區長ニ申出指揮ヲ請ハルヘシ

第七條 住居一定セス其ノ所屬他市町村ニ亘ルモノアルトキハ直ニ市長ニ報告セララルヘシ

第八條 本調査ハ九月十五日現在ヲ以テナス調査員ハ準備調査書ニ依リ更ニ左記調

査ヲ行ヒ周到正確ヲ期セララルヘシ

一、各世帯ニ就キ滿二十五歳以上ノ男子ノ氏名ヲ明示シ之ヲ承認セシムルモノトス

二、誤謬脱漏又ハ異動アル調査書ハ加除訂正スルモノトス

三、調査洩ノ有無ヲ確メ脱漏者ヲ發見セルトキハ速ニ調査シ追加スルモノトス

四、戸籍又ハ轉居ノ爲世帯員ニ就キ調査シ能ハサルトキハ近隣者ニ就キ之ヲ質ス等根據アル調査ヲセララルヘシ

第九條 前條ノ本調査ヲ終リタルトキハ擔當區内滿二十五歳以上ノ男子數ヲ世帯人名書ノ末尾ヘ記載シ調査書ハ世帯人名書順ニ之ヲ一括シ九月二十日迄ニ區長ヲ經テ市長ニ報告セララルヘシ

第十條 調査員ハ調査報告後ト雖モ市長ヨリ説明又ハ再調査ヲ命セラレタルトキハ速ニ答申セララルヘシ

以上

(申告書及世帯人名書様式略ス)

第四類
吏
員

組

織

松阪市臨時委員設置組織條例

(昭和八年十月二十五日決議
全十二月十九日許可
全十二月二十三日條例第十八號)

第一條 本市ノ福利増進ニ關スル事項ヲ調査シ之カ遂行ヲ期セムカ爲市制第八十三條ニ依リ臨時委員ヲ設置ス

第二條 委員ノ組織定數及担任事項ハ別表ノ通リトス

第三條 委員ノ任期ハ市會議長市會副議長及市會議員ヨリ推薦セラレタル者ハ各其ノ在任期間トシ市公民中選舉權ヲ有スル者ヨリ推薦セラレタル者ニ在リテハ擔任事項ヲ同ウスル市會議員ノ任期ニ同シ

補闕ニ依リ推薦セラレタル者ノ任期ハ前項ニ依ル前任者ノ殘任期間トス

附 則

本條例ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本條例施行ノ際從前松阪市臨時委員設置規程ニ依リ現ニ其ノ職ニ在ル者ハ本條例ニ依リ決定セラレタルモノト看做ス

松阪市臨時委員設置規程ハ本條例ノ施行ニ依リ改正セラレタルモノト看做ス

第一條 本市の行政事務は市長及び市會議長副議長の監督下において行はるるものとす

第二條 市長は市會議長副議長の協力を得て本市の行政事務を執行し其の執行に關する責任を負ふものとす

第三條 市長は市會議長副議長の協力を得て本市の財政事務を執行し其の執行に關する責任を負ふものとす

第四條 市長は市會議長副議長の協力を得て本市の教育事務を執行し其の執行に關する責任を負ふものとす

第五條 市長は市會議長副議長の協力を得て本市の衛生事務を執行し其の執行に關する責任を負ふものとす

第六條 市長は市會議長副議長の協力を得て本市の消防事務を執行し其の執行に關する責任を負ふものとす

第七條 市長は市會議長副議長の協力を得て本市の警務事務を執行し其の執行に關する責任を負ふものとす

第八條 市長は市會議長副議長の協力を得て本市の土木建築事務を執行し其の執行に關する責任を負ふものとす

第九條 市長は市會議長副議長の協力を得て本市の港湾事務を執行し其の執行に關する責任を負ふものとす

第十條 市長は市會議長副議長の協力を得て本市の公共事務を執行し其の執行に關する責任を負ふものとす

特別市臨時委員組織表

別表

條例第二條ニ依ル臨時委員組織表

委員名	担任事項	市會議長市會議副議長市會議員ヨリ推薦スヘキ定數	市公民中選舉權ヲ有スル者ヨリ推薦スヘキ定數
土木委員	土地、道路、鐵道、橋梁、水利ニ關スル事項	市會議長 市會議副議長 市會議員	九 一 一
建築委員	市有營造物一切ノ新築改築並修繕ニ關スル事項	市會議長 市會議副議長 市會議員	九 一 一
港湾委員	港湾並ニ干拓地ニ關スル事項	市會議長 市會議副議長 市會議員	九 一 一

第四類吏員

社會事業委員	公益質屋、授産場 診療所及失業者ニ 關スル事項	市會議長 市會副議長 市會議員	一 一 九	四
產業委員	商工業及農業施設 ニ關スル事項	市會議長 市會副議長 市會議員	一 一 十	五
警備委員	消防施設ニ關スル 事項	市會議長 市會副議長 市會議員	一 一 九	一
財政委員	財政ニ關スル事項	市會議長 市會副議長 市會議員	一 一 九	一

松阪市學務委員組織規程

(昭和八年四月二十日決議
昭和八年四月二十八日規程第三號)

本市學務委員ハ十人トシ左ノ者ヲ以テ之ヲ組織ス

- 一 市公民中選舉權ヲ有スル者 九人
- 二 小學校男教員 一人

附 則

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

松阪市實業補習教育委員設置規程

(昭和八年四月二十日決議
昭和八年四月二十八日規程第四號)

- 第一條 本市ニ實業補習教育委員六名ヲ設ク
 - 第二條 實業補習教育委員ハ市民中選舉權ヲ有スル者ノ中ヨリ三名市長ノ推薦ニ依リ市會ニ於テ之ヲ定メ實業補習學校職員中ヨリ三名市長之ヲ選定スルモノトス
 - 第三條 實業補習教育委員ノ任期ハ四ケ年トス
 - 第四條 補闕選舉ニ依リ就任シタル者ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス
- 附 則
- 本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

松阪市區長設置規程

(昭和八年四月二十日決議
昭和八年四月二十八日規程第二號)

第一條 本市ハ處務便宜ノ爲メ左ノ通區ヲ劃ス

區名	區域
愛宕町	大字愛宕町一圓
湊町	大字湊町一圓
白粉町	大字白粉町一圓
日野町	大字日野町一圓
新座町	大字新座町一圓
新座町	大字新座町一圓
殿座町	大字殿座町一圓
魚座町	大字魚座町一圓
中座町	大字中座町一圓

第四類吏員

本町 西町 川井町 黒田町 日野町二丁目 東岸江 西岸江 大津口 郷津 高町屋 鎌田 石津 荒木 垣鼻第一區 垣鼻第二區 垣鼻第三區

大字本町一圓 大字西町一圓 大字川井町一圓 大字黒田町一圓 大字日野町二丁目一圓 大字東岸江一圓 大字西岸江一圓 大字大口一圓 大字郷津一圓 大字高町屋一圓 大字鎌田一圓 大字石津一圓 大字荒木一圓 大字垣鼻ノ内 大字垣鼻ノ内 大字垣鼻ノ内

清生 幸生 大津 田原 久保 下村 上川 高田 第二條 各區ニ區長及區長代理者(郷津、石津、荒木ヲ除ク)一人ヲ置ク、區長及區長代理者ノ任期ハ四ケ年トス 附則 本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大字清生一圓 大字幸生一圓 大字大津一圓 大字田原一圓 大字久保一圓 大字下村一圓 大字上川一圓(高田區ヲ除ク) 大字上川ノ内高田區一圓 石津、荒木ヲ除ク)一人ヲ置ク、區長及

大字垣鼻行政區域内譯

- 字荒木
- 字方六
- 字高空
- 字大保田
- 字小久保
- 田尻
- 里中
- 溝端
- 世古出
- 堀之内

第四類 吏員

垣鼻第一區

- 野田
- 上後田
- 古垣内
- 上徳和
- 屈ノ江
- 八尻
- 常盤
- 下阪ノ裏
- 下徳和
- 後田
- 荒神前
- 中徳和

垣鼻第二區

垣鼻第三區

- 字若林
- 字下石川
- 字上荒木
- 上石川ノ内 (松阪電氣鐵道軌道以南)
- 上石川ノ内 (松阪電氣鐵道軌道以北)

四四

松阪市有給吏員定數規程

市制第八十六條ノ規程ニ依リ本市有給吏員ノ定數ヲ定ムルコト左ノ如シ但シ兼務ノ者ハ之ヲ含マス

昭和八年二月一日告示第六號
 同 四月二十一日規程第一號
 同 四月二十八日改正
 同 九年二月二十八日改正
 同 三月三十日規程第六號

- 主事 三人以内
- 土木技師 一人
- 産業技師 一人
- 書記 十八人以内
- 書記補 十三人以内
- 土木技師 五人
- 産業技師 一人
- 掃除監視員 二人

第四類 吏員

四五

第四類 吏員

記念館事務員

一人

花鶴病舎事務員

一人

統計吏員

一人

診療所醫師

一人

全 藥劑師

一人

全 事務員

一人

松阪港務所及埋立地管理事務所事務員

二人

都市計畫書記

一人

第一公益質屋事務員

三人

第二公益質屋事務員

二人

授産場事務員

二人

附 則

本規程ハ昭和八年度ヨリ之ヲ施行ス

附 則

本規程ハ昭和九年度ヨリ之ヲ施行ス

處 務

松阪市役所處務規程

(昭和八年二月一日廳達第一號
同年五月十五日廳達第二號改正)

第一章 總 則

- 第一條 松阪市役所ノ事務ハ法令其ノ他別段ノ定アルモノ、外本規程ニ依リ之ヲ處理ス
- 第二條 事務ハ慎重ヲ旨トシ繁文ヲ省略シ敏捷ニ取扱フベシ
- 第三條 事務ハ總テ市長ノ決裁ヲ經テ施行スヘシ
市長不在ナルトキハ助役之ヲ代決スヘシ
代決ヲ以テ施行シタル事項ハ市長ノ出勤ヲ俟テ提出スヘシ但シ輕易ナル事項ハ此ノ限ニ在ラス
- 第四條 文書ニハ市長又ハ役所名ヲ用フルヲ例トス
文書ハ市長ノ許可ヲ經ルニ非ザレバ之ヲ他人ニ示シ又ハ其ノ謄寫ヲ交付スルコトヲ得ス
- 第五條 執務時間ハ官廳ノ例ニ依ル

第二章 事務分掌

第六條 役所ニ左ノ課ヲ置キ事務ヲ分担セシムルコト左ノ如シ

第一課

- 一、庶務ニ關スル事項
- 二、戶籍ニ關スル事項
- 三、勸業ニ關スル事項

第二課

- 一、學務ニ關スル事項
- 二、衛生ニ關スル事項
- 三、社會事業ニ關スル事項
- 四、職業紹介所ニ關スル事項

第三課

- 一、會計ニ關スル事項
- 二、稅務ニ關スル事項

第四課

- 一、土木ニ關スル事項

二、營繕ニ關スル事項

三、都市計畫ニ關スル事項

第七條 各課ニ課長ヲ置キ各種ニ關スル事項ヲ處理スル爲主任及係員ヲ配置ス

第八條 課長ハ市長ノ命ヲ受ケ所部ノ事務ヲ掌理ス

第九條 課ノ事務ニシテ他課ニ關聯スルモノハ其ノ關係ノ重キ課ニ於テ掌理シ其ノ決定シ難キモノハ市長ノ定ムル處ニ依リ他ノ係ニ關聯スル事件ハ互ニ合議シ異議アルトキハ面議商量スヘシ

臨時必要ノ場合ハ担当以外ノ事務ヲ處理セシメ又ハ特殊ノ事務ヲ取扱ハシムルコトアルヘシ

第十條 各課ニ於テ分担スヘキ事務概目左ノ如シ

第一課 庶務ニ關スル事項

- 一、議員選舉ニ關スル事項
- 一、市會其ノ他ノ會議ニ關スル事項
- 一、歳入出豫算ニ關スル事項
- 一、市有財産ニ關スル事項
- 一、例月又ハ臨時ノ検査ニ關スル事項

- 一、吏員ノ進退及身分ニ關スル事項
- 一、印鑑ニ關スル事項
- 一、條例規則ニ關スル事項
- 一、災害ニ關スル事項
- 一、公印ノ監守ニ關スル事項
- 一、文書ノ收發ニ關スル事項
- 一、消防ニ關スル事項
- 一、神社ニ關スル事項
- 一、宗教ニ關スル事項
- 一、統計ニ關スル事項
- 一、徵兵ニ關スル事項
- 一、召集ニ關スル事項
- 一、服役ニ關スル事項
- 一、志願兵ニ關スル事項
- 一、軍人軍屬ノ褒賞恩給ニ關スル事項
- 一、在郷軍人ニ關スル事項

- 一、犯罪人ニ關スル事項
- 一、他係ノ主宰ニ屬セザル事項
- 同 戸籍ニ關スル事項
- 一、戸籍ニ關スル事項
- 一、寄留ニ關スル事項
- 一、人口動態ニ關スル事項
- 一、刑名簿ニ關スル事項
- 同 勸業ニ關スル事項
- 一、産業ニ關スル事項
- 一、度量衡ニ關スル事項
- 一、移住民ニ關スル事項
- 一、獸醫蹄鐵工ニ關スル事項
- 一、勤儉貯蓄ニ關スル事項
- 一、運輸交通ニ關スル事項
- 一、勸業上ノ組合及團體ニ關スル事項
- 一、屠場ニ關スル事項

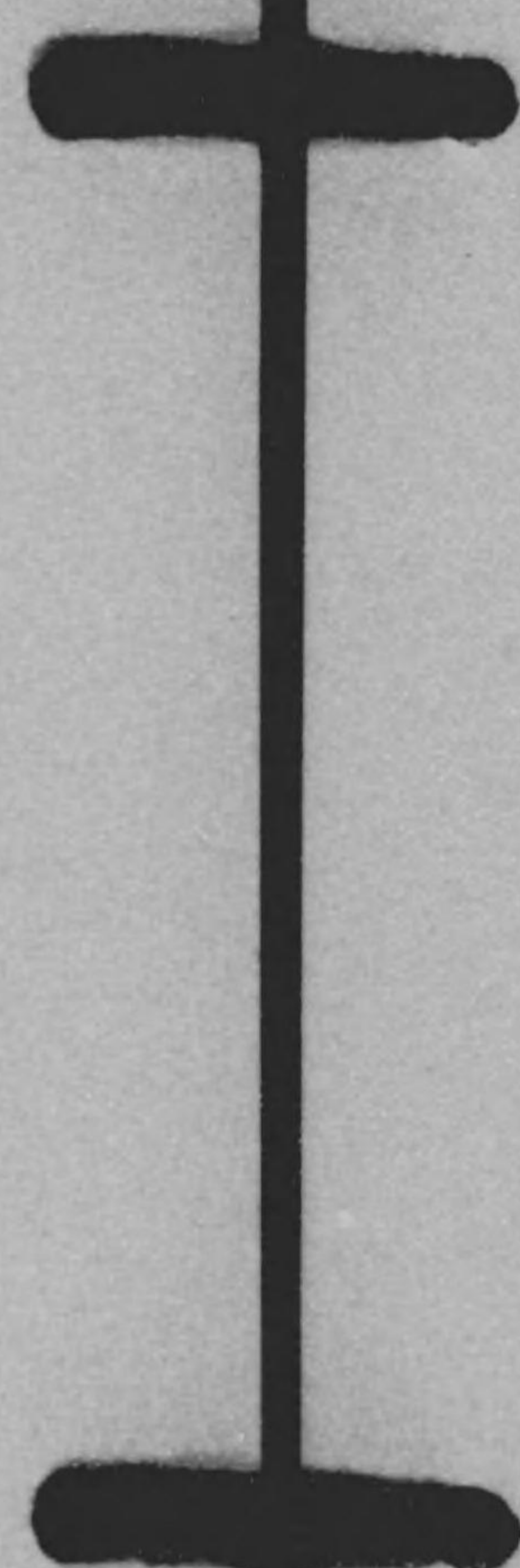
- 一、勸業統計ニ關スル事項
 - 第二課 學務ニ關スル事項
 - 一、學校管理ニ關スル事項
 - 一、學校職員ニ關スル事項
 - 一、學齡兒童ニ關スル事項
 - 一、教育上ノ會合ニ關スル事項
 - 一、學務委員ニ關スル事項
 - 一、學務統計ニ關スル一切ノ事項
 - 一、其ノ他教育ニ關スル一切ノ事項
- 同 衛生ニ關スル事項
 - 一、傳染病ニ關スル事項
 - 一、醫業藥業及產婆鍼灸按術ニ關スル事項
 - 一、墓地火葬場ニ關スル事項
 - 一、公衆衛生ニ關スル事項
 - 一、行路病死死人ニ關スル事項
 - 一、衛生統計ニ關スル事項

- 一、獸疫ニ關スル事項
 - 一、癩豫防ニ關スル事項
 - 同 社會ニ關スル事項
 - 一、賑恤救濟及感化慈善ニ關スル事項
 - 一、社會教育ニ關スル事項
 - 一、地方改善ニ關スル事項
 - 一、方面委員ニ關聯シタル事項
 - 同 職業紹介ニ關スル事項
 - 第三課 會計ニ關スル事項
 - 一、市費ノ出納ニ關スル事項
 - 一、保管金ニ關スル事項
 - 一、物品ノ購入修理及出納ニ關スル事項
 - 同 稅務ニ關スル事項
 - 一、國稅縣稅市稅賦課徵收ニ關スル事項
 - 一、國稅縣稅市稅ニ係ル願届出ニ關スル事項

- 一、土地臺帳ニ關スル事項
- 一、滯納處分ニ關スル事項

第四課 土木ニ關スル事項

- 一、道路港灣河川橋梁堤塘溝渠樋管用惡水路溜池ノ改修及管理ニ關スル事項
- 一、公園ニ關スル事項
- 一、埋立地管理ニ關スル事項
- 一、治水水防及水利ニ關スル事項
- 一、鐵道及軌道ニ關スル事項
- 一、水道ニ關スル事項
- 一、道路其ノ他官有地及市有地ノ占用使用又ハ取締ニ關スル事項
- 一、道路橋梁街燈港灣竿燈点燈ニ關スル事項
- 一、地種組換土地分合ニ關スル事項
- 一、土地買收無償讓受交換收用並處分整理ニ關スル一切ノ事項
- 一、土木施設風水害調査ニ關スル事項
- 一、土木用器具機械ノ保管ニ關スル事項
- 一、工事用材料購入保管及處分ニ關スル事項



- 一、土地臺帳及地籍圖ニ關スル事項
- 一、土木統計ニ關スル事項
- 一、開墾耕地整理ニ關スル事項
- 一、道路工夫ノ進退及取締ニ關スル事項
- 一、其ノ他地理土木ニ關スル一切ノ事項
- 同 營繕ニ關スル事項
- 一、應舍及市有建築物ノ營繕並修理ニ關スル一切ノ事項
- 同 都市計畫ニ關スル事項
- 一、都市計畫ニ關スル事項
- 一、市街地建築物ニ關スル事項
- 一、交通調査ニ關スル事項

第三章

文書ノ處理

一 收 受

第十一條 役所ニ收受スル一切ノ文書ハ左ノ簿冊ニ登記シ受付日附印ヲ押捺シ番號ヲ記入シ市長檢閱ノ上係員ニ配付シ受領印ヲ徵スヘシ
 文書收發簿(第一第様式)

親展文書電報受付簿（第二號様式）
官報公報雜誌類受付簿（第三號様式）

第十二條 口頭ヲ以テ申告ヲ受ケタル事項ハ之ヲ口頭申告簿（自第四至第七及自第十五至第十六號様式）ニ登録シ市長ハ差出スヘシ

第十三條 執務時間外及休日ニ收受スル文書ハ當直員ニ於テ前二條ニ依リ取扱ヒ左ノ區別ニ依リ處理スヘシ

- 一、至急親展ハ直ニ其ノ宛名ニ送付スヘシ
- 二、電報又ハ至急ト記シタル文書ハ直ニ之ヲ處理スヘシ若シ自ラ處理スルコト能ハサルトキハ市長ノ指揮ヲ受クヘシ
- 三、前各號以外ノ文書ハ執務時間開始後之ヲ係員ニ引繼クヘシ

二 同議 同覽

第十四條 文書ハ即日之ヲ處理スヘシ若シ即日之ヲ處理シ難キトキハ市長ノ指揮ヲ受クヘシ

第十五條 回議ハ第八號様式ニヨリ起案シ市長ノ決裁ヲ受クヘシ但シ輕易ナル事件ハ第九號様式ノ印ヲ押捺シ回議案ニ代フルコトヲ得

第十六條 經由ニ止ムル文書ハ文書收發簿處理要領欄ニ其ノ要領ヲ記入シ市長ノ決

裁ヲ受クヘシ

前項經由文書ニハ市長欄外ニ認印又ハ奧書証印スヘシ

第十七條 回覽ニ止ムル文書ハ第九號様式ノ印ヲ押捺シ市長ノ決裁ヲ受クヘシ

三 發 送

第十八條 決裁ヲ經タル文書ニシテ發送ヲ要スルモノハ淨寫校合シ文書收發簿ニ記入シタル上發送ノ手續ヲ爲スヘシ

第十九條 使丁ヲ以テ送付スル文書ニシテ重要ナルモノハ送付簿（第十一號様式）ニ記入其ノ受領印ヲ受クヘシ

第二十條 執務時間外又ハ休日ニ於テ至急發送ヲ要スル文書ハ前數條ノ規定ニヨリ當直員ニ於テ之ヲ處理スヘシ

四 編綴及保管

第二十一條 完結文書ハ別ニ定ムル部類ニヨリ各係ニ於テ第一種第二種第三種ニ區分編綴シ第一種ニ限リ冊首ニ目錄（第十二號様式）ヲ付シ翌年一月中ニ庶務係ニ引繼クヘシ

庶務係ハ文書臺帳（第十三號様式）ヲ調製シ簿冊類ヲ登記スヘシ

第二十二條 保管期限ヲ經過シタル簿冊類ニシテ不用ト認メタルトキハ庶務係ニ於テ關係係ト協議シ決裁ヲ經テ廢棄ノ手續ヲナシ且其ノ文章中印章等ニ使用ノ虞アルモノハ消印又ハ截斷シテ會計係ニ引繼クヘシ

第二十三條 法令及諸規則ハ改廢ノ都度各係ニ於テ之カ加除更訂ヲ爲スヘシ處務上ノ例規又ハ參考ト爲ルヘキ事項ハ各係ニ於テ編纂保存スヘシ

第二十四條 處理中ノ文書ハ一定ノ袋等ニ入レ常ニ其ノ所在ヲ明瞭ナラシムルベシ

第四章 服務心得

第二十五條 吏員出勤シタルトキハ自ラ出勤簿ニ捺印シタル後事務ニ服スヘシ若シ出勤時限マテニ出勤スル事能ハサルトキハ其ノ旨届出スヘシ

第二十六條 病氣其ノ他ノ事故ニ依リ出勤スル事能ハサルトキ又ハ執務時間内ニ退廳セムトスルトキハ其ノ旨届出スヘシ

病氣引籠一週間ヲ超ユルモノハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ届出スヘシ爾後二週間ヲ超ユル毎ニ亦同シ

役所所在地ヲ離レ療養セムトスルモノハ其ノ日限ヲ豫定シ行先地ヲ詳記シ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ市長ノ許可ヲ受クヘシ

第二十七條 父母ノ病氣看護又ハ墓參ノ爲請暇セムトスル者ハ其ノ日限ヲ豫定シ市

長ノ許可ヲ受クヘシ

其ノ役所所在地ヲ離ル場合ハ行先地ヲ詳記スヘシ

私事旅行ヲナサムトスルモノハ其ノ事由日限行先地ヲ詳記シ市長ノ許可ヲ受クヘシ但シ執務時間外又ハ休暇日ハ此ノ限ニ在ラス

第二十八條 助役吏員忌服ニ丁ルトキハ其ノ死亡月日及死亡者トノ續柄ヲ記シ届出スヘシ

第二十九條 執務時間外及休暇ト雖非常事件又ハ變災等アル場合ハ即日參廳スヘシ

第三十條 出張ハ出張命令簿(第十四號様式)ニヨリ市長ノ決裁ヲ受クヘシ

第三十一條 出張ヲ命セラレタル者ハ歸着ノ上遲滞ナク口頭又ハ書面ヲ以テ復命スヘシ

第五章 當直

第三十二條 退出時限後及休日ニハ當直(晝直夜直)ヲ置キ吏員一名(市長助役收入役主事技師ヲ除ク)ヲ以テ之ニ充ツ但シ晝直ハ登廳時限ヨリ退廳時限迄トス臨時ノ雇員ニハ當直ヲ爲サシムルコトヲ得ス

第三十三條 當直ノモノハ臨時出張又ハ病氣ノタメ退廳セムトスルトキハ次番ノモノニ通知シ交代スヘシ

第三十四條 當直員ニ於テ取扱フヘキ事項左ノ如シ

- 一、第十三條第二十條ノ事務ヲ處理スルコト
- 二、印章及鍵ヲ保管スヘシ
- 三、外來者ニ應接スルコト
- 四、廳内一切ノ取締ニ關スルコト

第六章 雜則

第三十五條 役所ニ日誌ヲ備ヘ執務時間内ニ於ケル重要ナル事項並當直員ノ職氏名其ノ取扱ヒタル事務ノ要領休暇執務セシ者ノ職氏名及其ノ用務等ヲ記載シ市長ノ檢印ヲ受クヘシ

附則

本規程ハ昭和八年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

文書綴編部類

文書綴編ハ左ノ部類ニ依ルヘシ

- 一、市條例規程綴
- 一、庶務ニ關スル綴
- 一、庶務統計綴
- 一、市會ニ關スル綴
- 一、議員選舉ニ關スル綴（衆議院議員、縣會議員、市會議員ニ區分スルコト）
- 一、社會事務ニ關スル綴
- 一、社會事務統計綴
- 一、動員ニ關スル綴（機密書類陸軍海軍ニ區分）
- 一、馬匹ニ關スル綴
- 一、教育ニ關スル綴
- 一、教育統計綴
- 一、衛生ニ關スル綴
- 一、衛生統計綴

- 一、勸業ニ關スル綴
 - 一、勸業統計綴
 - 一、地理ニ關スル綴
 - 一、土地ニ關スル綴
 - 一、土地異動通知書綴
 - 一、土地登記済通知書綴
 - 一、會計ニ關スル綴
 - 一、稅務ニ關スル綴（國稅縣稅市稅區費ニ區分スルコト）
 - 一、例規綴（各係ニ一冊トス但シ類別スルコトヲ得）
 - 一、土木ニ關スル綴
 - 一、營繕ニ關スル綴
 - 一、都市計畫ニ關スル綴
- 前項各綴ノ編綴ハ之ヲ分チテ左ノ三種トス
- 一、第一種 永久保存ノ必要アルモノ
 - 一、第二種 十年後ニ於テ廢棄シ得ルモノ
 - 一、第三種 五年後ニ於テ廢棄シ得ルモノ

第一項ノ部類以外ニ編綴ヲ増加スルノ必要アルトキハ市長ノ決裁ヲ受クヘシ
 文書ハ曆年別ニ之ヲ編綴スルモノトス但シ紙數ノ寡少ナルモノハ此ノ限ニ在ラス
 會計ニ屬スル編綴ハ年度區分ニ依ルコトヲ得

任主	長課	長市
昭和 年 月 日		
三 何 神 社		
昭和年度收支 豫算認可申請		
月	月	月
日	日	日
日奥書証印縣へ進 達 日縣ヨリ許可書着 日何々神社へ送付		

備考

- 一、文書ノ交付ヲ受ケタルトキハ受領者印ヲ押捺スヘシ
- 一、處理要領ニハ係ニ於テ文書取扱ノ顛末ヲ簡單ニ記載シ完了シタルトキハ完了印ヲ押捺シ臺帳ニ記入スヘキモノハ記入済ト朱書スヘシ
- 一、發ニ關スルモノハ番號ハ文書收發簿順位ノ番號ヲ用ヒ受領者印ノ個所ニ「發」ト記入スヘシ
- 一、本簿ハ同一事件ニ關シ數回往復照牒スルモ之カ爲文書番號ヲ改ムルコトナク同一番號ヲ附シ受付ノ都度處理要領欄ニ受領印ヲ押捺スルモノトス
- 一、ハ市長認印ハ係ノ認印トス

第二號樣式

親展電報書受付簿

(用紙半紙)

市長印	收受年月日	出	所	宛	名	受領者印

第三號樣式

官公報雜誌類受付簿

(用紙半紙)

受領者印	收受年月日	出	所	摘	要

第四號樣式

印鑑届申告簿

(用紙半紙)

申告月日	市長印	課長印	係員印	事	件	住所氏名	人	處分月日	處分要領

第五號樣式

印鑑証明交付簿

(用紙半紙)

決判主任者	割印番號	出願年月日	本籍地	戸主續柄若ハ未成 年者氏名並法定代 理人ノ資格及本人 ノ氏名	摘要	手数料 金額
昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	住所	地			

第六號樣式

荷積車口頭申告

(用紙半紙)

市長印	事由	摘要	住所	届出人氏名調印
	第 号 昭和 年 月 日 坪 台 勺		大字	
			番地	

第七號樣式

閱覽申告簿

(用紙半紙)

市長印	番號	姓名	住所	氏名	手数料金額

第八號様式

回議案

(用紙半紙)

昭 和 年 月 日 立 案 番 號	昭 和 年 月 日 決 裁 號	昭 和 年 月 日 發 行	市 長	助 役	課 長	何 係	合 議	何 係	立 案 者
	第 號 宛								

第九號様式

昭 和 年 月 日 立 案	昭 和 年 月 日 決 裁	昭 和 年 月 日 發 行	何 々	市 長	助 役	課 長	何 係	合 議	係	立 案 者
---------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---	-------------

備考
回覽ノ場合ハ發行欄ヲ抹消スルコト

第十號様式

條例告示諭告指令達番號簿

(用紙半紙)

年月日	番號	件名

備考

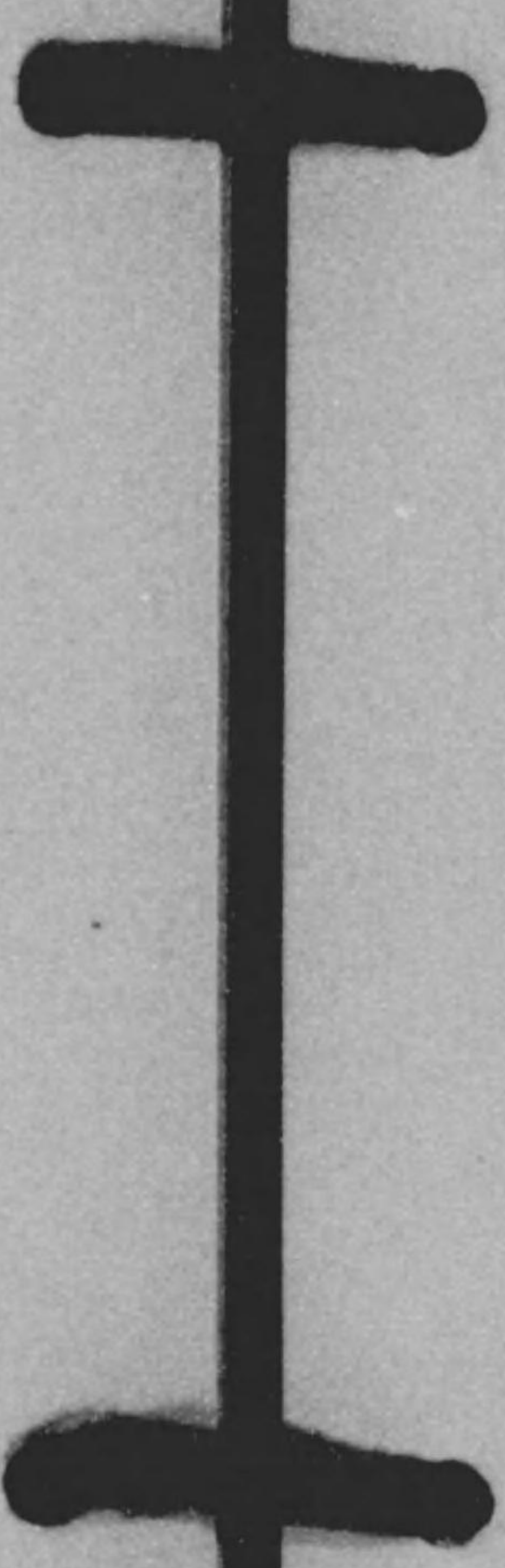
本簿ハ條例告示諭告指令達ノ各口座ヲ設ケ各別ニ番號ヲ附シ其ノ頭字ヲ冠スルモノトス

第十一號様式

送付簿

(用紙半紙)

送付年月日	受領者印宛	名件	名	取扱者印
年月日				



第十二號様式

目録

(用紙半紙)

昭和	年	月	日	番號	件名	丁數

第十三號様式

文書臺帳

(用紙半紙)

年號	編綴部類	冊數	摘要

備考

本簿ハ綴ト帳簿ヲ區分スヘシ

松阪市役所神戸出張所處務規程

昭和八年二月一日廳達第一號

- 第一條 松阪市役所神戸出張所（以下單ニ出張所ト稱ス）ニ於ケル元神戶村地域ニ屬スル處務ニ關シテハ本規程ノ定ムル所ニ依ルヘシ
- 第二條 出張所ニ勤務スヘキ吏員ハ市長ノ發令指揮スル所ニ依リ各事務ヲ分担スヘシ
- 第三條 出張所ニ宛到達シタル一般ノ外來文書ニシテ本規程中別ニ定メナキモノハ總テ授受ノ儘市役所第一課庶務係ニ送付スヘシ
- 第四條 出張所ニ於テハ其ノ名ヲ以テ一切ノ文書ヲ發行スルコトヲ得ス但シ市長ニ於テ必要ニ應シ指示若ハ決裁ヲ爲シタルモノハ此ノ限ニ在ラズ
- 第五條 出張所ニ於テ接受シタルモノ、内本條ノ定ムル事務ニ關シテハ概ネ左記各號ニ依リ處理スヘシ
 - 一、戶籍及寄留ニ關スル届出ヲ受理シタルトキハ之ヲ調査シ支障ナキモノハ即日市役所第一課戶籍係ニ送付スヘシ
 - 二、戶籍寄留又ハ印鑑及其ノ他諸証明並其ノ他ノ謄本抄本下附若ハ閱覽申請アリ

タルトキノ取扱ニ關シテハ別ニ指達セル所ニ從ヒ處理スヘシ

三、埋火葬認許証下附要求アリタル場合ニ於ケル取扱方ニ關シテハ前號ニ同シ

四、車体檢印及自轉車鑑札下附緊付ニ關スル取扱ヒ亦前號ニ準ス

五、國稅、縣稅、市稅及其ノ他ノ稅外收入ニシテ法令ノ定ムル所ニ依リ市ノ取扱ニ係ルモノヲ收受シタルトキハ各令規ニ依ル証憑書類ヲ添ヘ即日市金庫ニ送付スヘシ

第六條 出張所ニ於テ必要ナル一切ノ需用品ニシテ役所ヨリ現品送付以外ノモノヲ購入セムトスルトキハ市長ノ決裁ヲ經タル後ニアラサレハ之ヲ購入スルコトヲ得ス

第七條 出張所ニハ日誌ヲ備ヘ必要事項ヲ記載シ市長ノ檢閲ヲ經ヘシ

第八條 出張所ニ於テ取扱フ一切ノ文書及帳簿ノ處理ニ關シテハ其ノ日付ヲ明ニスヘシ

第九條 出張所ノ當直(晝直、夜直)ハ市役所處務規程ニ依リ市長ノ指定シタル吏員勤務スベシ

第十條 出張所轄地域内ニ火災水害其ノ他非常事故突發シタルトキハ直ニ市長若ハ助役ヘ電話又ハ便宜ノ方法ヲ講シ速報スヘシ

第十一條 本規程ニ定ムル以外ノ事務其ノ他取扱方ニ關シテハ總テ市長ノ指揮スル所ニ依ルヘシ

附 則

本規程ハ昭和八年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

吏員警備ニ關スル規程

昭和八年二月一日廳達第一號

第一條 松阪市役所吏員ハ本規程ニ依リ警備ノ任ニ當ルノ義務アルモノトス

第二條 吏員退廳ノ際ハ特ニ戸締リ及ヒ火氣ニ注意ヲ拂ヒ盜難失火ノ豫防ニ努ムモノトス

第三條 執務時間外ニ於テ本町地域内ニ出火若クハ事變ノ起リタル場合ハ直チニ現場ニ參集シ市長ノ指揮ヲ受ケ各々擔任事務ニ當ルモノトス但シ本條事變發生ノ場合當直宿直員ハ速カニ市長助役ニ通報スヘシ

第四條 執務時間外ニ於テ廳舎ヨリ出火シ若クハ類焼ノ虞レアル場合ハ吏員ハ直チニ參集シ警備又ハ消防ノ任ニ當ルノ外使丁以下常備人夫ヲ指揮シテ應急ノ處置ヲ執ラシムルモノトス但シ本條ノ場合當直宿直員ハ直ニ市長助役ニ通報スヘシ

第五條 前條ノ場合ニ於テハ左記順序ニ據リ附近安全地域ニ搬出避難セシムルモノトス

一、詔書謄本

第四類 吏員

- 二、非常持出書類簿冊
- 三、其ノ他ノ書類簿冊
- 四、器具

第六條 吏員中松阪市以外ノ居住者ニシテ市長ニ於テ特ニ必要ト認ムル場合ハ非常通報人ヲ定メシムルコトアルヘシ

附 則

本規程ハ昭和八年二月一日ヨリ之ヲ實施ス

第一條

松阪市吏員事務引繼規程

松阪市吏員事務引繼規程

昭和八年二月一日廳達第一號

第一條 明治四十四年内務省令第十七條ニ規定セサル本市吏員ノ事務引繼ハ本規程ニ依ルヘシ

第二條 本市吏員更迭ノ場合ニ於テハ前任者ハ退職ノ日ヨリ十日以内ニ其ノ担任スル事務ヲ後任者ニ引繼クヘシ
後任者ニ引繼クコトヲ得サル事情アルトキハ區長ニ在リテハ區長ノ代理者其ノ他ニアリテハ市長又ハ市長ノ指定シタル吏員ニ引繼クヘシ此ノ場合ニ於テハ引繼ヲ受ケタル者ハ後任者ニ引繼クコトヲ得ルニ至リタルトキハ直チニ後任者ニ引繼クヘシ

前項引繼ノ場合ニハ其ノ擔任スル書類帳簿其ノ他物件ニ付テハ各目録ヲ調製シ處分未済若クハ未着手又ハ將來ノ意見ヲ記載スルコトヲ要ス但シ區長ノ引繼ヲ除クノ外口頭ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得
第一項ノ期間内ニ引繼ヲ了スルコト能ハサル場合ニ於テハ市長ニ於テ更ニ引繼ヲ

爲スヘキ期日ヲ定ムヘシ

第三條 引繼ヲ爲ス者死亡シ又ハ其ノ所在不明ナルトキハ區長ノ場合ニ在リテハ區長代理者ニ於テ引繼書ヲ調製シ後任者就職ノ日ヨリ十日以内ニ引繼キ其ノ他ノ場合ニ在リテハ市長ノ指揮スル所ニ依ル

第四條 引繼ハ退職ノ日ノ現在ニ依ルヘシ但シ一時引繼ヲ受ケタル者ヨリ後任者ニ引繼ヲ爲ス場合ハ後任者就職ノ日ノ現在ニ依ル

第五條 引繼中法令ニ違背シ又ハ故障アリテ引繼ヲ了シ難キトキハ市長ニ於テ引繼ノ受渡ヲ爲ス場合ノ外市長ノ指揮ヲ受クヘシ

附 則

本規程ハ昭和八年二月一日ヨリ施行ス

給

與

松阪市給與條例

第一章 總則

第一條 本市名譽職員及有給吏員ニ對スル給與ハ別ニ規定アルモノヲ除ク外本條例ノ定ムル所ニ依ル

第二章 報酬及給料

第二條 名譽職員ノ報酬額ヲ左ノ通定ム

一、區長

愛宕町、殿町區長	年額一人	五拾八圓
西町區長	同	五拾七圓
本町、垣鼻第一區長	同	五拾六圓
日野町二丁目區長	同	五拾五圓
東岸江區長	同	五拾貳圓

昭和八年五月十九日決議
 六月二十七日許可
 七月一日條例第十三號
 二月二十八日改正
 三月三十日許可
 四月二日條例第三號

川井町區長	同	五拾壹圓
湊町、中町區長	同	四拾六圓
新町、白粉町區長	同	四拾貳圓
日野町、魚町區長	同	四拾壹圓
新座町、大口、清生區長	同	參拾九圓
鎌田、下村區長	同	參拾八圓
久保區長	同	參拾五圓
上川區長	同	參拾四圓
黑田町區長	同	參拾貳圓
垣鼻第三區長	同	參拾壹圓
上川高田區長	同	貳拾九圓
大津、西岸江、垣鼻第二區長	同	貳拾八圓
高町屋區長	同	貳拾七圓
石津、幸生區長	同	拾八圓
鄉津區長	同	拾七圓
田原區長	同	拾六圓

二、區長代理者

荒木區長	同	拾四圓
愛宕町、湊町、日野町、白粉町		
新町、新座町、殿町、魚町、中町		
本町、西町、川井町、黑田町、大口		
日野町二丁目、東岸江、西岸江、鎌田	年額一人	七圓
高町屋、上川、上川高田、下村、久保		
田原、大津、幸生、清生、垣鼻第一區		
垣鼻第二區、垣鼻第三區		

三、委員

學務委員	年額一人	拾圓
實業補習教育委員	同	四圓
第三條 有給吏員ノ給料額ヲ左ノ通定ム		
一、市長	年額	參千五百圓
一、助役	同	壹千八百圓
一、收入役	同	六百圓

第四類吏員

- 一、主事 平均月額一人 百拾圓
- 一、土木技師 月額 百參拾圓
- 一、産業技師 同 八拾五圓
- 一、書記 平均月額一人 六拾圓
- 一、書記補 同 四拾貳圓
- 一、産業技手 月額 四拾五圓
- 一、土木技手 平均月額一人 七拾五圓
- 一、掃除監視員 平均月額一人 參拾五圓
- 一、記念館事務員 月額 參拾貳圓
- 一、花鶴病舎事務員 同 參拾五圓
- 一、統計吏員 同 參拾圓
- 一、診療所醫師 同 百五拾圓
- 一、同 藥劑師 同 參拾五圓
- 一、同 事務員 同 參拾五圓
- 一、同 事務員 同 六拾五圓
- 一、松阪港務所及埋立地管理事務所事務員 同 參拾九圓
- 一、第一公益質屋事務員 平均月額一人 月額(平均ナラザルモノ)拾七圓

一、第二公益質屋事務員

平均月額一人

參拾七圓五拾錢

一、授産場事務員

同

五拾五圓

第四條 報酬給料ハ左ノ定日ニ之ヲ支給ス但シ其ノ定日休日ニ當ルトキハ第一號但シ書及第三號ノ給與ニ在リテハ之ヲ繰上ケ其ノ他ハ繰下トス

一、年額ヲ以テ定ムル者ハ十二分シタルモノヲ毎月二十一日但シ年額百圓以下ノ報酬ニ在リテハ毎年九月、三月ノ各末日ニ其ノ半額

二、月額ヲ以テ定ムルモノハ毎月二十一日

三、日給ハ其ノ月末日但シ十二月ニ限リ二十五日トス

第五條 報酬給料ハ就職又ハ發令ノ當日ヨリ日割ヲ以テ之ヲ支給ス

日給ハ出勤日數ニ依リ發令ノ日ヨリ之ヲ支給ス但シ公務ノ爲傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ缺勤シタルトキ及休日、忌引中ハ仍之ヲ支給ス

第六條 報酬給料ヲ受クル者廢職トナリ又ハ退職若ハ死亡シタルトキハ當月分ノ報酬給料全額ヲ其ノ際支給ス

報酬給料ヲ受クル者失職シ又ハ犯罪ノ爲免職セラレ若ハ懲戒ニ依リ解職セラレタルトキハ其ノ當日迄日割ヲ以テ之ヲ支給ス

廢職又ハ退職シタル者其ノ月再就職若ハ復職シ又ハ任用セラレタルトキハ當月分

第四類吏員

ノ報酬給料ヲ支給セズ但シ前給與額ニ比シ増加シタル場合ニ在リテハ増給ノ例ニ依リ其ノ差額ヲ支給ス

第七條 廢職又ハ退職若ハ失職シタル者事務引繼整理ノ爲特ニ命ヲ受ケ執務シタルトキハ日割ヲ以テ在職當時ノ報酬給料額ヲ支給ス但シ第六條第一項ノ規定ニ依ル報酬給料額ノ支給ヲ受ル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第八條 有給吏員疾病ノ爲執務セサルニト九十日ヲ超ユルトキ又ハ私事ノ故障ニ依リ執務セサルコト三十日ヲ超ユルトキハ給料ヲ支給セス
前項ノ疾病及故障連續スル場合ニ於テハ私事故障ニ因ル一日ハ病氣ニ依ル三日ト看做シ之ヲ計算ス

公務ノ爲傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ又ハ傳染病豫防ノ爲交通ヲ遮斷セラレ欲勤シタル日數ハ第一項ノ日數ニ之ヲ算入セス忌引ノ日數亦同シ

第九條 報酬給料ヲ受クル者陸軍給與令又ハ海軍給與令ニ依リ俸給ヲ受クルトキハ其ノ間報酬給料ヲ支給セズ但シ其ノ俸給額本市ヨリ受クル給與額ニ比シ寡少ナルトキハ市長ハ其ノ差額ヲ支給スルコトヲ得

第十條 日割計算ノ方法ハ總テ其月ノ現日數ニ依ル
第三章 費用辨償及旅費

第十一條 名譽職吏員及有給吏員公務ノ爲市外ニ旅行シタルトキハ左表ニ定ムル所ニ從ヒ順路ニ依リテ費用辨償又ハ旅費ヲ支給ス但シ公務ノ都合ニ依リ順路ニ依リ難キ場合ニ於テハ其ノ現ニ經過シタル通路ニ依ル

職名	市役所		助役		收入員		主事	技師	其他	吏員
	縣外	縣内	縣外	縣内	縣外	縣内				
鐵道貨	二等運賃	同	二等運賃	同	二等運賃	同	二等運賃	同	二等運賃	同
船貨	二等運賃	同	二等運賃	同	二等運賃	同	二等運賃	同	二等運賃	同
車馬賃	實費	同	實費	同	實費	同	七拾五錢	同	七拾五錢	同
宿泊料	九圓	同	九圓	同	七圓	同	七圓	同	五圓	同
日當	參圓	同	參圓	同	七圓	同	貳圓五拾錢	同	貳圓	同
食卓料	貳圓	同	貳圓	同	貳圓	同	貳圓	同	貳圓	同
	壹圓五拾錢	同	壹圓五拾錢	同	壹圓五拾錢	同	壹圓五拾錢	同	壹圓	同

講習視察等ノ爲旅行セシ場合ニ在リテハ市長ニ於テ減額支給スルコトヲ得
市内ニ出張シ又ハ一里未滿ノ旅行ニハ旅費ヲ支給セズ但シ實費ヲ要スルトキハ其

ノ實費ヲ支給ス

第十二條 鐵道旅行ニハ鐵道賃、水路旅行ニハ船賃、陸路旅行ニハ車馬賃ヲ支給ス
鐵道又ハ水路ニ依ラサル旅行ハ之ヲ陸路旅行トス

宿泊料ハ夜數ニ應シ日當ハ日數ニ應シテ之ヲ支給ス但シ水路旅行ニハ船中ニ於ケル夜數ニ應シ食卓料ヲ支給シ宿泊料ヲ支給セズ

第十三條 陸路六里未滿鐵道七十八杆未滿水路三十海里未滿ノ旅行ニ在リテハ公務ノ都合ニ依リ宿泊シタル場合ヲ除クノ外其ノ支給スヘキ日當ハ定額ノ半額トス
一旅行ニシテ陸路鐵道又ハ水路ニ亘ルトキハ鐵道ハ十三杆水路ハ五海里ヲ以テ陸路一里ト看做シ前項ノ規定ヲ適用ス

第十四條 特別ノ事情ニ依リ定額ノ鐵道賃船賃又ハ車馬賃ヲ以テ其ノ實費ヲ支辨シ難キ場合ニ於テハ市長ハ其ノ實費ヲ支給スルコトヲ得出張地内ニ於テ特別ノ用務ニ依リ車馬賃ヲ要シタルトキ亦同シ

第十五條 鐵道賃船賃又ハ車馬賃ハ各其ノ路程ヲ合算シテ之ヲ支給ス但シ定額ヲ異ニスルモノニ在リテハ各別ニ之ヲ通算ス通算上一杆一海里又ハ一里未滿ノ端數ヲ生シタルトキハ切捨トス

第十六條 市會議員ニシテ支給期間内其ノ招集ニ應シ出席シタルトキハ費用辨償ト

シテ左ノ歳費ヲ支給ス

市會議長 歳費 金百五拾圓

市會副議長 歳費 金百貳拾圓

市會議員 歳費 金 百 圓

名譽職參事會員ニハ費用辨償トシテ年額拾圓ヲ支給ス

前各項ノ費用辨償ハ毎年度其ノ半額ヲ九月、三月ノ二回ニ之ヲ支給ス

臨時委員ニシテ執務シタルトキハ費用辨償トシテ日額金壹圓ヲ其ノ月末日ニ支給ス但シ一人ニシテ同日中ニ數個ノ職務ニ從事シタルトキハ一日分ノミヲ支給ス

市會議員選舉立會人及陪審員候補者抽籤立會人ニシテ立會シタルトキ前項ニ同シ

附 則

本條例ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附 則

本條例ハ昭和九年度ヨリ之ヲ施行ス

松阪市有給吏員其ノ他給與ニ關スル規程

昭和八年五月十九日決議
同 七月一日規程第十二號
同 九年二月二十八日改正
同 三月十日規程第五號

第一條 有給吏員ニハ文具料トシテ一ヶ月金參拾錢ヲ支給ス但シ其ノ月全々執務セサルトキハ之ヲ支給セス

第二條 有給吏員其ノ他(小學校教員ヲ除ク)ニシテ夜直若ハ日直シ又ハ徹夜執務シタルトキハ一度ニ付左ノ賄料ヲ支給ス

- 一、市役所吏員(市長、助役、收入役、主事、技師ヲ除ク) 金參拾錢
- 一、使丁、給仕 金拾五錢

學校職員ニシテ夜直シタルトキハ夜直一度ニ付金參拾錢ヲ支給ス

公益質屋事務員ノ夜勤、當直、宿直スル者ハ常務一名トシ其ノ賄費月額金拾圓ヲ支給ス

松阪港務所及埋立地管理事務所事務員當直及宿直スル者ハ一名トシ其ノ賄費月額金九圓ヲ支給ス

第三條 有給吏員傳染病發生ノ場合消毒ノ爲患家ニ出張シタルトキハ手當トシテ一日ニ付金參拾錢ヲ支給ス

第四條 使丁及給仕休日勤務又ハ夜勤ヲ爲サシメタルトキハ一度金拾錢ヲ支給ス

第五條 使丁、給仕、道路工夫、掃除夫、園丁、屠場看守ノ給料ハ本市給與條例中日給ノ例ニ依リ之ヲ支給ス

第六條 第一條乃至第四條ニ規定スル給與ハ毎月末日之ヲ支給ス但シ當日休日ニ當ルトキハ繰下トス

附 則

本規程ハ昭和八年度ヨリ之ヲ施行ス

松阪市有給吏員退職料退職給與金 遺族扶助料條例

昭和八年四月二十日決議
同 六月二十三日許可
昭和八年七月一日條例第十二號

第一章 總 則

第一條 本市有給吏員及其ノ遺族ハ本條例ノ定ムル所ニ依リ退職料、退職給與金及遺族扶助料ヲ受クルノ權利ヲ有ス

退職料、退職給與金及遺族扶助料ヲ受クルノ權利ハ市長之ヲ裁定ス

第二條 退職料トハ普通退職料及增加退職料ヲ謂ヒ遺族扶助料トハ扶助料及一時扶助料ヲ謂フ

第三條 普通退職料、增加退職料及扶助料ハ年金トシ退職給與金及一時扶助料ハ一時金トス

第四條 普通退職料、增加退職料及扶助料ノ年額並退職給與金及一時扶助料ノ額ノ圓位未滿ハ之ヲ圓位ニ滿タシム

第五條 普通退職料、增加退職料及扶助料ノ給與ハ之ヲ給スヘキ事由ノ生シタル月

ノ翌月ヨリ之ヲ始メ權利消滅ノ月ヲ以テ終ル

第六條 退隱料、退職給與金及遺族扶助料ヲ受クルノ權利ハ之ヲ給スヘキ事由ノ生シタル日ヨリ七年間請求セサルトキハ時効ニ因リ消滅ス

第七條 普通退隱料又ハ増加退隱料ヲ受クルノ權利ヲ有スル者退職後一年內ニ有給吏員ニ再就職スルトキハ前條ノ期間ハ再就職ニ係ル職ノ退職ノ日ヨリ進行ス

第八條 普通退隱料、増加退隱料及扶助料ヲ受クルノ權利ヲ有スル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ權利消滅ス

一、死亡シタルトキ

二、死刑又ハ無期若ハ六年以上ノ懲役若ハ禁錮ノ刑ニ處セラレタルトキ

三、國籍ヲ失ヒタルトキ

第九條 退隱料又ハ退職給與金若ハ遺族扶助料ヲ受クルノ權利ヲ有スル者死亡シタルトキハ其ノ生存中ノ退隱料又ハ退職給與金若ハ遺族扶助料ニシテ給與ヲ受ケザリシモノハ之ヲ遺族ニ給シ遺族ナキトキハ死亡者ノ相続人ニ給ス
前項ノ遺族及其ノ順位ハ扶助料ヲ受クヘキ遺族及其ノ順位ニ依ル
退隱料又ハ退職給與金若ハ遺族扶助料ヲ受クルノ權利ヲ有スル者家族ナリシトキハ第一項ノ相続人ハ其ノ死亡ノ當時之ト同一口籍內ニ在リタルコトヲ要ス

第十條 退隱料、退職給與金及遺族扶助料ヲ受クルノ權利ハ之ヲ讓渡シ又ハ擔保ニ供スルコトヲ得ス

第十一條 有給吏員ノ在職年ハ就職ノ月ヨリ之ヲ起算シ退職又ハ死亡ノ月ヲ以テ終ル

退職シタル後再就職シタルトキハ前後ノ在職年月數ハ之ヲ合算ス但シ退職給與金ノ基礎トナルヘキ在職年ニ付テハ前ニ退職給與金ノ基礎トナリタル在職年ノ年月數ハ之ヲ合算セス

退職シタル月ニ於テ再就職シタルトキハ再在職ノ在職年ハ再就職ノ月ノ翌月ヨリ之ヲ起算ス

第十二條 左ニ掲クル年月數ハ在職年ヨリ之ヲ除算ス

一 普通退隱料又ハ増加退隱料ヲ受クルノ權利消滅シタル場合ニ於テ其ノ退隱料ノ基礎ト爲リタル在職年

二 第十六條ノ規定ニ依リ退隱料又ハ退職給與金ヲ受クルノ資格ヲ失ヒタル在職年

第十三條 有給吏員二以上ノ職ヲ併有シ各職ニ付給料ヲ給セラル、場合ニ於テハ給料額ヲ合算シタルモノヲ以テ其ノ者ノ給料額トシ其ノ重複スル在職年數ハ之ヲ重

復ニ計算セス

第十四條 有給吏員所定ノ年數在職シ退職シタルトキハ之ニ普通退隱料又ハ退職給與金ヲ給ス

第十五條 有給吏員公務ノ爲傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ不具廢疾ト爲リ失格原因ナクシテ退職シタルトキハ之ニ普通退隱料及增加退隱料ヲ給ス但シ有給吏員ニ重大ナル過失アリタルトキハ之ヲ給セス

公務旅行中流行病ニ罹リタルトキハ公務ノ爲疾病ニ罹リタルモノト看做ス

前項流行病ノ種類ニ付テハ恩給法施行令第二十二條ノ例ニ依ル

第十六條 有給吏員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ引繼キタル在職ニ付退隱料又ハ退職給與金ヲ受クルノ資格ヲ失フ

一 懲戒處分ニ因リ解職セラレタルトキ

二 在職中禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

第十七條 有給吏員退職ノ當時仍他ノ有給吏員トシテ在職スル者ニ付テハ總テノ有給吏員ノ職ヲ退クニ非サレハ之ニ退隱料又ハ退職給與金ヲ給セス

第十八條 普通退隱料ヲ受クル者再就職シ失格原因ナクシテ退職シ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ退隱料ヲ改定ス

一 再就職後在職一年以上ニシテ退職シタルトキ

二 再就職後公務ノ爲傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ不具廢疾ト爲リ退職シタルトキ
前項ノ規定ニ依リ普通退隱料ヲ改定スルニハ前後ノ在職年ヲ合算シ其ノ年額ヲ定メ增加退隱料ヲ改定スルニハ前後ノ傷痍又ハ疾病ヲ合シタルモノヲ以テ不具廢疾ノ程度トシ其ノ年額ヲ定ム

第十九條 前條ノ規定ニ依リ退隱料ヲ改定スル場合ニ於テ其ノ年額從前ノ退隱料年額ヨリ少キトキハ從前ノ退隱料年額ヲ以テ改定退隱料ノ年額トス

第二十條 普通退隱料ヲ受クル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ間之ヲ停止ス

一 有給吏員トシテ就職シタルトキハ就職ノ月ノ翌月ヨリ退職ノ月迄但シ實在職期間一月未滿ナルトキハ此ノ限ニ在ラス

二 六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレタルトキハ其ノ月ノ翌月ヨリ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至リタル月迄但シ刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ受ケタルトキハ停止セス其ノ言渡ヲ取消サレタルトキハ取消ノ月ノ翌月ヨリ刑ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至リタル月迄之ヲ停止ス
前項第二號ノ規定ハ增加退隱料ニ付之ヲ準用ス

第二章 退隱料

第二十一條 有給吏員在職年十五年以上ニシテ退職シタルトキハ之ニ普通退隱料ヲ給ス

前項ノ退隱料ノ年額ハ在職年十五年以上十六年未滿ニ對シ退職當時ノ給料年額百五十分ノ五十二相當スル金額トシ十五年以上一年ヲ増ス毎ニ其ノ一年ニ對シ退職當時ノ給料年額ノ百五十分ノ一ニ相當スル金額ヲ加ヘタル金額トス
在職年四十年ヲ超ユル者ニ給スヘキ退隱料ノ年額ハ之ヲ在職年四十年トシテ計算ス

第十五條及第十八條第一項第二號ノ規定ニ依リ在職年十五年未滿ノ者ニ給スヘキ普通退隱料ノ年額ハ在職年十五年ノ者ニ給スヘキ普通退隱料ノ額トス

第二十二條 増加退隱料ノ年額ハ退職當時ノ階等及不具癡疾ノ程度ニ依リ定メタル別表ノ金額トス

前項不具癡疾ノ程度ニ付テハ恩給法施行令第二十四條ノ例ニ依ル

第三章 退職給與金

第二十三條 有給吏員在職一年以上十五年未滿ニシテ退職シタルトキハ之ニ退職給與金ヲ給ス

前項退職給與金ノ金額ハ退職當時ノ給料月額ニ相當スル金額ニ在職年ノ年數ヲ乘

シタル金額トス

第四章 遺族扶助料

第二十四條 本條例ニ於テ遺族トハ有給吏員ノ祖父、祖母、父、母、夫妻、子及兄弟、姉妹ニシテ有給吏員ノ死亡當時同一戸籍内ニ在ル者ヲ謂フ

有給吏員死亡ノ當時胎兒タル子出生シタルトキハ前項ノ規定ノ適用ニ付テハ有給吏員死亡ノ當時同一戸籍内ニ在リタルモノト看做ス

第二十五條 有給吏員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ遺族ニハ妻、未成年ノ子夫、父母、成年ノ子、祖父、祖母ノ順位ニ依リ之ニ扶助料ヲ給ス

一 在職中死亡シ其ノ死亡ヲ退職ト看做ストキハ之ニ普通退隱料ヲ給スヘキトキ
二 普通退隱料ヲ給セラル、者死亡シタルトキ

前項ノ規定ニ依ル同順位ノ子數人アルトキハ有給吏員ヲ被相續人トシタル家督相續ノ順位ニ準シ之ヲ定ム父母ニ付テハ養父母ヲ先ニシ實父母ヲ後ニス祖父父母ニ付テハ養父母ノ父母ヲ先ニシ實父母ノ父母ヲ後ニシ父母ノ養父母ヲ先ニシ實父母ヲ後ニス

先順位者タルヘキ者後順位者タル者ヨリ後ニ生スルニ至リタルトキハ前三項ノ規定ハ當該後順位者失權シタル後ニ限り之ヲ適用ス

第二十六條 未成年ノ子ハ未ダ婚姻セサルトキニ限り之ニ扶助料ヲ給ス

夫又ハ成年ノ子ハ不具癡疾ニシテ生活資料ヲ得ルノ途ナク且之ヲ扶養スル者ナキトキニ限り之ニ扶助料ヲ給ス養子ハ有給吏員ノ家督相続人タルトキ又ハ有給吏員ノ家督相続人ニシテ之ヲ戸主ト看做ストキハ其ノ死亡ノ時ニ於テ其ノ家督相続人タルヘキ者ニ限り之ニ扶助料ヲ給ス

第二十七條 有給吏員ノ死亡後遺族左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ扶助料ヲ受クルノ資格ヲ失フ

一 子婚姻シ又ハ其ノ家ヲ去リタルトキ但シ父ノ屬シタル家ヨリ分家シ又ハ有給吏員ノ妻若ハ子ニシテ分家スルモノニ伴ヒ其ノ家ニ入りタルトキハ此ノ限ニ在ラス

二 有給吏員女子ナル場合ニ於テ夫婚姻シ又ハ家ヲ去リタルトキ

三 父、母、祖父又ハ祖母其ノ家ヲ去リタルトキ

第二十八條 扶助料ヲ受クル者六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレタルトキハ其ノ月ノ翌月ヨリ其ノ刑ノ執行ヲ終リ又ハ其ノ執行ヲ受クルコトナキニ至リタル月迄扶助料ヲ停止ス但シ刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ受ケタルトキハ扶助料ハ之ヲ停止セス其ノ言渡ヲ取消サレタルトキハ取消ノ月ノ翌月ヨリ刑ノ執行ヲ終リ又ハ執行

ヲ受クルコトナキニ至リタル月迄之ヲ停止ス

前項ノ規定ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレ刑ノ執行中又ハ其ノ執行前ニ在ル者ニ扶助料ヲ給スヘキ事由發生シタル場合ニ付之ヲ準用ス

第二十九條 扶助料ヲ給セラレヘキ者一年以上所在不明ナルトキハ次順位者ノ申請ニ依リ市長ハ所在不明中扶助料ノ停止ヲ爲スコトヲ得

第三十條 前二條ノ扶助料停止ノ事由アル場合ニ次順位者アルトキハ停止期間中扶助料ハ之ヲ當該順位者ニ轉給ス

第三十一條 遺族左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ扶助料ヲ受クル權利ヲ失フ

一 其ノ家ヲ去リタルトキ但シ妻夫ノ屬シタル家ヨリ分家シ又ハ遺族タル子ニシテ分家スルモノニ伴ヒ其ノ家ニ入りタルトキ及子父ノ屬シタル家ヨリ分家シ又ハ有給吏員ノ妻若ハ子ニシテ分家スルモノニ伴ヒ其ノ家ニ入りタルトキハ此ノ限リニ在ラス

二 妻子又ハ夫婚姻シタルトキ

三 不具癡疾ニシテ生活資料ヲ得ルノ途ナク且之ヲ扶養スルモノナキ夫又ハ成年ノ子ニ付其事情止ミタルトキ

第三十二條 扶助料ノ年額ハ左ノ各號ニ依ル

一 有給吏員公務ニ因ル傷疾疾病ノ爲死亡シタルトキハ其ノ普通退隱料年額ノ十分ノ八ニ相當スル金額

二 其ノ他ノ場合ニ於テハ有給吏員ニ給セララル、普通退隱料年額ノ十分ノ五ニ相當スル金額

第三十三條 有給吏員在職年一年以上十五年未滿ニシテ在職中死亡シタル場合ニハ其ノ遺族ニ一時扶助料ヲ支給ス

前項ノ一時扶助料ノ金額ハ有給吏員ノ死亡ノ當時ニ於ケル給料月額ニ相當スル金額ニ其ノ有給吏員ノ在職年ノ年數ヲ乘シタル金額トス

第三十四條 有給吏員第二十五條第一項各號ノ一ニ該當シ兄弟姉妹以外ニ扶助料ヲ受クル者ナキトキハ其ノ兄弟姉妹未成年又ハ不具癡疾ニシテ生活資料ヲ得ルノ途ナク且ツ之ヲ扶養スル者ナキ場合ニ限リ之ニ一時扶助料ヲ給ス

前項ノ一時扶助料ノ金額ハ扶助料年額ノ一年分ニ相當スル金額ヲ兄弟姉妹ノ人員ニ乘シタル金額トス但シ兄弟姉妹ノ人員三人ヲ超過スルトキハ其ノ超過スル人員ニ對シテハ扶助料年額ノ二分ノ一ニ相當スル金額ヲ乘シタル金額トス

附 則

第三十五條 本條例ハ昭和八年二月一日ヨリ之ヲ適用ス

第三十六條 本條例ノ適用ヲ受クル前松阪町有給吏員タリシ者ノ在職年月數及本條例ノ適用ヲ受クル前退職シタル者ニシテ本條例ノ適用ヲ受クル後再就職シタルモノ、從前ノ在職年月數ハ之ヲ合算ス但シ明治四十四年法律第六十八號改正市制施行前退職シタル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ尙其ノ以前ノ在職年數ヲ合算セサルモノトス

一 懲戒裁判ニ依リ解職セラレタルトキ但シ自己ノ所爲ニ非スシテ職務ヲ執ルニ堪ヘサルカ爲解職セラレタル場合ハ此ノ限リニ在ラス

二 隨時解職シ得ヘキ有給員ニシテ不都合ノ所爲アリタルカ爲解職シタルトキ

三 犯罪ニ依リ失職シタルトキ

四 職ニ就キタルカ爲公民タルノ權利ヲ得ヘキ職務ニ在ル者ニシテ禁錮以上ノ刑ニ該ルヘキ罪ノ爲公判ニ付セラレタルニ依リ解職セラレタルトキ但シ後ニ免訴若クハ無罪ノ言渡アリタル場合又ハ有罪ノ宣告アリタルモ禁錮以上ノ刑ニ該ラサル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三十七條 三重縣飯南郡神戸村ヲ松阪町ニ編入ノ際現ニ同村ニ在職セシ有給吏員ニシテ引續キ松阪町有給吏員ニ任用シタル者ノ本條例ニ規定スル期間ノ適用ニ付テハ前在職年ノ二分ノ一ニ該ル年數ヲ松阪町有給吏員トナリタル後ノ在職年數ニ

加算ス

第三十八條 本條例施行ノ際従前松阪町退隠料條例又ハ同有給吏員遺族扶助料條例ニ依リ退隠料扶助料ヲ受ケ又ハ受クヘキ者ハ本條例所定ノ金額ニ依リ之ヲ支給ス
第三十九條 本條例施行ニ關シ必要ナル細則ハ市長之ヲ定ム

別表

階等	給料月額貳百圓ヲ超ユル者	給料月額百參拾五圓以上貳百圓以下ノ者	給料月額五拾五圓以上百參拾五圓未滿ノ者	給料月額五拾五圓未滿ノ者
特別項	一、二〇〇	一、〇八〇	九九〇	九〇〇
第一項	九六〇	八六四	七九二	七二〇
第二項	八〇〇	七二〇	六六〇	六〇〇
第三項	六四〇	五七六	五二八	四八〇
第四項	五二二	四六一	四二三	三八四
第五項	四〇〇	三六〇	三三〇	三〇〇

第六項	三三〇	二八八	二六四	二四〇
-----	-----	-----	-----	-----

松阪市有給吏員退職料退職給與金 遺族扶助料支給細則

昭和八年七月一日規程第十一號

第一章 總 則

第一條 本市有給吏員退職料退職給與金遺族扶助料條例（以下單ニ條例ト稱ス）ニ依リ退職料退職給與金又ハ遺族扶助料ヲ受ケムトスル者ハ請求書ヲ市長ニ差出スヘシ

第二條 年金タル退職料及遺族扶助料又ハ一時金タル退職給與金及遺族扶助料ノ支給ヲ受ケムトスル者ハ支拂請求書（第一號様式）ヲ市長ニ差出スヘシ

第三條 條例第九條ノ規定ニ依リ退職料退職給與金又ハ遺族扶助料ヲ受クヘキ遺族又ハ相續人ハ自己ノ名ヲ以テ請求又ハ支拂請求ヲ爲スコトヲ得
前項ノ相續人數人アルトキハ其ノ中ノ一人ヲ總代者トシテ請求スヘシ

第二章 退職料退職給與金遺族扶助料ノ請求

第四條 普通退職料又ハ増加退職料ヲ受ケムトスル者ハ普通退職料請求書（第二號

様式)又ハ増加退隠料請求書(第三號様式)ニ左ノ書類ヲ添付スヘシ

一、在職中ノ履曆書

二、戶籍抄本(退職後請求迄ノ間ニ於テ作製セラレタルモノ)

増加退隠料請求書ニハ前項各號ニ掲クル書類ノ外左ノ書類ヲ添付スヘシ

一、傷痍・疾病カ公務ニ起因シタルコトヲ認ムルニ足ルヘキ書類(例ヘハ現認者ノ現認證明書等)

二、症狀ノ經過ヲ記載シタル書類

三、請求當時ニ於ケル診斷書

退隠料ヲ改正スル場合ニ退隠料證書ヲ受ケタルコトアルトキハ前二項各號ニ掲クル書類ノ外其ノ退隠料證書ヲ添付スヘシ

第五條 退職給與金ヲ受ケムトスル者ハ退職給與金請求書(第四號様式)ニ在職中ノ履曆書ヲ添付スヘシ

第六條 條例第二十五條第一項第一號ノ規定ニ依リ第一次ニ扶助料ヲ請求スルコトヲ得ル者カ扶助料ヲ請求スル場合ニ於テハ扶助料請求書(第五號様式)ニ左ノ書類ヲ添付スヘシ

一、有給吏員在職中ノ履曆書

二、請求者ノ戶籍謄本(有給吏員死亡ノ時以後ノ請求者ノ身分關係ヲ明瞭ニシ得ルモノ)

前項ノ場合ニ於テ有給吏員前ニ退隠料證書ヲ受ケタルコトアルトキハ前各號ニ掲クル書類ノ外其ノ退隠料證書ヲ添付スヘシ

第七條 條例第二十五條第一項第二號ノ規定ニ依リ第一次ニ扶助料ヲ請求スルコトヲ得ル者カ扶助料ヲ請求スル場合ニ於テハ扶助料請求書(第五號様式)ニ左ノ書類ヲ添付スヘシ

一、有給吏員カ既ニ普通退隠料ノ裁定ヲ經タルトキハ其ノ退隠料證書及請求者ノ戶籍謄本(有給吏員死亡ノ時以後ノ請求者ノ身分關係ヲ明瞭ニシ得ルモノ)

二、有給吏員カ未タ普通退隠料ノ裁定ヲ經サルトキハ前條第一項各號ニ掲クル書類

前條第二項ノ規定ハ前項第二號ニ掲クル書類ヲ添付スヘキ場合ニ之ヲ準用ス

第八條 前二條ノ場合ニ於テ有給吏員ノ死亡カ公務ニ因ル傷痍疾病ニ起因スルトキハ前二條ノ規定ニ依ルノ外扶助料請求書ニ第四條第二項第一號及第二號ニ掲クル書類並ニ死亡者ノ死亡診斷書又ハ屍體檢案書ヲ添付スヘシ
前項ノ死亡診斷書又ハ屍體檢案書ヲ添付スルコトヲ得サル場合ニ於テハ死亡ノ事

實ヲ證スル公ノ證明書ヲ添付スヘシ

第九條 條例第二十五條第一項各號ノ規定ニ依リ第二次以下ニ於テ扶助料ヲ請求スルコトヲ得ル者カ扶助料ヲ請求スル場合ニ於テハ扶助料請求書(第五號様式)ニ左ノ書類ヲ添付スヘシ

- 一、前扶助料權者カ扶助料ヲ受タルノ權利ヲ失ヒタルコトヲ證スル書類
- 二、前扶助料權者ノ扶助料證書
- 三、請求者ノ戶籍謄本(有給吏員死亡ノ時以後ノ請求者ノ身分關係ヲ明瞭ニシ得ルモノ)

前項ノ場合ニ於テ前扶助料權者カ未タ扶助料ノ裁定ヲ經サルトキハ前項第一號ニ掲クル書類及前扶助料權者カ扶助料ヲ請求スル場合ニ添付スルコトヲ要スル書類ヲ添付スヘシ

第十條 條例第二十六條第二項ニ規定スル扶助料ヲ請求スル場合ニ於テハ第六條乃至前條ノ規定ニ依ルノ外扶助料請求書ニ不具廢疾ヲ證ヘル診斷書及本市外ニ居住スル者ハ生活資料ヲ得ルノ途ナク且ツ扶養スル者ナキコトヲ證スル居住地申(町村)長ノ證明書ヲ添付スヘシ

第十一條 條例第二十九條ノ規定ニ依リ扶助料ノ停止ヲ申請スル者ハ扶助料停止申

請書(第六號様式)ニ左ノ書類ヲ添付シ市長ニ送呈スヘシ

- 一、扶助料權者カ所在不明ナルコトヲ證明スル公ノ證明書
- 二、請求者ノ戶籍謄本(有給吏員死亡ノ時以後ノ請者ノ身分關係ヲ明瞭ニシ得ルモノ)

前項ノ場合ニ於テハ同時ニ條例第三十條ノ規定ニ依ル扶助料轉給ノ請求ヲ爲スヘシ

第十二條 條例第三十條ノ規定ニ依リ扶助料ノ轉給ヲ請求スル者ハ其ノ事由ヲ記載シタル扶助料轉給請求書(第七號様式)ニ請求者ノ戶籍謄本(有給吏員死亡ノ時以後ノ請求者ノ身分關係ヲ明瞭ニシ得ルモノ)ヲ添付スヘシ但シ前條ノ規定ニ依リ請求者ノ戶籍謄本ヲ添付シタル場合ニ於テハ其ノ添付ヲ要セス

第十三條 條例第三十三條ノ規定ニ依リ一時扶助料ヲ請求スル場合ニ於テハ一時扶助料請求書(第八號様式)ニ左ノ書類ヲ添付スヘシ

- 一、有給吏員在職中ノ履歷書
- 二、請求者ノ戶籍謄本(有給吏員死亡當時ノ請求者ノ身分關係ヲ明瞭ニシ得ルモノ)

第十四條 條例第三十四條ノ規定ニ依リ一時扶助料ヲ請求スル場合ニ於テハ一時扶

助料請求書（第八號様式）不具癡疾ヲ證スル診斷書ノ外左ノ書類ヲ添付スヘシ

一、有給吏員カ既ニ普通退隱料ノ裁定ヲ經タルトキハ其ノ退隱料證書及請求者ノ

戶籍謄本（有給吏員死亡當時ノ請求者ノ身分關係ヲ明瞭ニシ得ルモノ）

二、有給吏員カ未タ普通退隱料ノ裁定ヲ經サルトキハ有給吏員ノ在職中ノ履歷書

及請求者ノ戶籍謄本（有給吏員死亡當時ノ請求者ノ身分關係ヲ明瞭ニシ得ルモノ）

三、本市外ニ居住スル者ニ在リテハ生活資料ヲ得ルノ途ナク且扶養スル者ナキコ

トヲ證スル居住地市（町村）長ノ證明書

第十五條 一時扶助料ヲ給セラル、者數人アルトキハ其ノ中ノ一人ヲ總代者トシテ

一時扶助料ノ請求又ハ支拂請求ヲ爲スヘシ

第十六條 第三條ノ規定ニ依リ退隱料、退職給與金又ハ遺族扶助料ヲ請求スル者ハ

請求書ニ左ノ書類ヲ添付スヘシ

一、死亡シタル退隱料、退職給與金又ハ遺族扶助料權者カ退隱料、退職給與金又

ハ遺族扶助料ヲ請求ストセハ添付スルコトヲ要スヘキ書類

二、請求者ノ戶籍謄本（死亡シタル退隱料、退職給與金又ハ遺族扶助料權者ノ死

亡當時ノ請求者ノ身分關係ヲ明瞭ニシ得ルモノ）

第十七條 前各條ノ規定ニ依リ退隱料證書ヲ添付スヘキ場合ニ於テ亡失其ノ他ノ事

由ニ依リ之ヲ添付スルコトヲ得サルトキハ證據書類ヲ添ヘ其ノ事由ヲ市長ニ届出

ツヘシ

第十八條 年金タル退隱料及遺族扶助料ニ付テハ退隱料又ハ遺族扶助料證書ヲ一時

金タル退職給與金及遺族扶助料ニ付テハ裁定通知書ヲ請求者ニ交付ス但シ第三條

ノ規定ニ依ル請求ニ對シテハ裁定通知書ヲ交付ス

第十九條 前條ノ規定ニ依リ證書又ハ裁定通知書ノ交付ヲ受ケタル者ハ受領書ヲ提

出スヘシ印鑑ハ仕拂請求書及現金領收證ニ押捺スヘキモノト同一ナル印章タルコ

トヲ要ス

第二十條 退隱料、退職給與金又ハ遺族扶助料ノ審査上必要アリト認ムルトキハ市

長ハ請求者又ハ申請者ニ出頭ヲ命シ又ハ必要ナル書類ノ提出ヲ命スルコトアルヘ

シ

第三章 退隱料退職給與金、遺族扶助料ノ支給

第二十一條 年金タル退隱料又ハ遺族扶助料ハ毎年一月、四月、七月、十月ノ四期

ニ於テ各其ノ前月分迄ヲ給ス

前項支給期月ニ支給シ得サリシモノ若ハ權利消滅シタル退隱料又ハ遺族扶助料ハ

第四編 吏員

一一七

支給期月ニ拘ラス支拂請求ノ時々之ヲ給ス

第一項ノ支拂請求書ハ各支給期月ノ五日迄ニ差出スヘシ

第二十二條 年金タル退隱料又ハ遺族扶助料ヲ受クル者禁錮以上ノ刑ニ處セラレハ刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ受ケタルトキヲ除ク若クハ刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ取消サレタルトキ又ハ國籍ヲ失ヒ若ハ死亡シ又ハ條例第三十一條ノ規定ニ依リ扶助料ヲ受クルノ權利ヲ失フ場合ニ於テハ本人、遺族若ハ縁故者ヨリ速ニ其ノ旨ヲ市長ニ届出ツヘシ

第四章

退隱料、遺族扶助料証書ノ返還及再交付

第二十三條 年金タル退隱料又ハ遺族扶助料ヲ受ケタル者死亡シ又ハ之ヲ受クルノ權利ヲ失ヒタル場合ニ於テ順位者ナキトキハ其ノ證書ヲ占有スル者ハ速ニ市長ニ之ヲ返還スヘシ

前項ノ場合ニ於テ亡失又ハ其ノ他ノ事由ニ依リ之ヲ返還シ得サルトキハ速ニ其ノ旨ヲ市長ニ届出ツヘシ

第二十四條 退隱料及遺族扶助料證書又ハ裁定通知書ヲ亡失シ又ハ毀損シタルトキハ其ノ理由ヲ具シ證據書類ヲ添ヘ市長ニ其ノ再交付ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ證書又ハ裁定通知書ノ交付アリタルトキハ從前ノ證書又ハ裁定通知

書ハ其ノ効力ヲ失フ

亡失ヲ事由トシテ証書又ハ裁定通知書ノ再交付ヲ受ケタル後從前ノ證書又ハ裁定通知書ヲ發見シタルトキハ速カニ市長ニ之ヲ返還スヘシ

第二十五條 年金タル退隱料又ハ遺族扶助料ヲ受クル者其ノ氏名ヲ變更シタルトキ

ハ證書及戸籍抄本ヲ添ヘ其ノ旨ヲ市長ニ届出ツヘシ
前項ノ場合ニ於テ市長ハ證書ニ改氏名ノ事實ヲ記載シタル上之ヲ權利者ニ返付ス

附 則

本細則ハ昭和八年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

條例第三十八條ニ依リ普通退隱料又ハ遺族扶助料ヲ受ケムトスル者ハ普通退隱料請求書(第二號様式)又ハ扶助料請求書(第五號様式)ニ在職中ノ履歷書及戸籍抄本(扶助料ニ在リテハ退隱料受給者死亡當時ノ戸籍謄本共)ヲ添付スヘシ

第一號様式

支拂請求書

普通退隱料

(增加退隱料 扶助料)

番號 第

號

年額金

圓

自 年 年 月 第 期分 (何箇月分)

至 年 年

一金
又ハ

一金

圓也 退職給與金 (一時扶助料) 番號第 號

右支拂請求候也

退職當時ノ職名又ハ有給吏員トノ身分關係

(前住所)

現住所

年 月 日

氏

生 年 月 日 (孤兒ニ限ル)

名 印

松阪市長 氏 名 殿

備考

一 未成年者カ請求スル場合ハ法定代理人ノ連署ヲ要ス以下各號ノ請求書ニ付亦同シ

二 新ニ支給ヲ始ムル者ハ其ノ裁定及起算ノ年月日又死亡其ノ他ノ事故ニ因リ支

給額ニ異動アル場合ニハ其ノ年月日及事由ヲ金額ノ次ニ附記スヘシ
三 前支給期以降現住地ヲ變更シタル者ハ必ス前住所ト現住所トヲ併記スヘシ

第二號様式

普通退隱料請求書

年 月 日 (職名) ヲ退職致候ニ付普通退隱料ヲ給與相成度證據

書類相添へ請求候也

退職當時ノ職名

本籍地

現住所

年 月 日

氏

名 印

松阪市長 氏 名 殿

第三號樣式

普通退隱料
增加退隱料 請求書

年 月 日 (職名) ヲ退職致候ニ付普通退隱料及ヒ增加退隱料ヲ
給與相成度證據書類相添へ請求候也

退職當時ノ職名

本籍地
現住所

年 月 日

氏

名 印

松阪市長 氏名 殿

第四號樣式

退職給與金請求書

年 月 日 (職名) ヲ退職致候ニ付退職給與金ヲ給與相成度證據
書類相添へ請求候也

退職當時ノ職名

本籍地
現住所

年 月 日

氏

名 印

松阪市長 氏名 殿

第五號樣式

扶助料請求書

有給吏員又ハ普通退隱料權者若ハ前扶助料權者

氏

名

右者 年 月 日死亡 (失權) 候ニ付扶助料ヲ給與相成度證據書類

第四類 吏員

相添へ請求候也

有給吏員又ハ普通退隠料權者トノ身分關係

本籍地

現住所

年 月 日

氏

名 印

松阪市長 氏名 殿

第六號様式

扶助料停止請求書

停止セラルヘキ扶助料權者 氏

名

右者 年 月 日

日以來所在不明ニ付扶助料ヲ停止相成度證據書類相

添へ請求候也

有給吏員トノ身分關係

第七號様式

松阪市長 氏名 殿

年 月 日

申請者 氏

名 印

扶助料轉給請求書

停止中ノ扶助料權者 氏

名

右者 犯罪ニ因ル扶助料停止期間中扶助料ヲ轉給相成度證據書類相添へ
請求候也

有給吏員トノ身分關係

本籍地

現住所

年 月 日

氏

名 印

松阪市長 氏名 殿

第八號樣式

一時扶助料請求書

有給吏員又ハ普通退隱料權者ノ退職當時ノ職名

氏名

右者 年 月 日在職中死亡(右者 年 月 日死亡)候ニ付

松阪市有給吏員退隱料、退職給與金、遺族扶助料條例第三十三條(第三十四條)ノ規定ニ依リ一時扶助料ヲ給與相成度證據書類相添ヘ請求候也

有給吏員又ハ普通退隱料權者トノ身分關係

本籍地

現住所

年 月 日

氏

名

印

松阪市長 氏名 殿

第五類 產業

松阪市農家組合（又ハ生産組合） 事業獎勵金交付規程

昭和八年二月一日告示第六號

第一條 農家組合又ハ生産組合獎勵ノ爲メ本規定ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ獎勵金ヲ交付ス

第二條 本規程ニ於テ農家組合又ハ生産組合ト稱スルハ主トシテ同一部落内ニ居住スル十五戸以上五十戸未滿ノ組合員又ハ生産組合員ヲ以テ組織シ農業ノ改良農村ノ改善ニ努ムル實行団体ヲ謂フ、但シ特別ノ事情アルモノハ十五戸未滿五十戸以上ト雖モ之ヲ農家組合又ハ生産組合ト看做スコトアルヘシ

第三條 獎勵金ハ左記各號ノ全部又ハ一部ニ該當スル施設又ハ事業ヲナストキ之ヲ交付ス

- 一、農業技術ノ改善並ニ研究
- 二、農家經濟ノ改善
- 三、農産物ノ販賣並ニ必需品ノ共同購入

四、生活改善

五、其他農業ノ改良發達ヲ圖ルニ必要ナル事業

第四條 獎勵金ノ交付ヲ受ケムトスルトキハ申請書ニ左記書類ヲ添付シ三月末日迄

ニ市長ニ提出スヘシ

一、事業ノ種目及施行方法

二、事業施設ニ關スル經費豫算書

第五條 獎勵金額ハ第四條ノ申請ニヨリ市長之ヲ定ム

第六條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル組合ハ其ノ事業成績及經費決算書ヲ翌年四月末日迄

迄ニ市長ニ提出スヘシ

第七條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタルモノ經費支出額カ申請書記載ノ豫算額ヨリ著シク

減少シタルトキ又ハ事業ノ遂行不適當ナリト認メタルトキハ交付金ノ全部又ハ一

部ノ返還ヲ命スルコトアルヘシ

附 則

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

松阪市養豚獎勵金交付規程

昭和八年二月一日告示第六號

第一條 養豚業ノ獎勵ヲナス爲本規程ニ依リ豫算ノ範圍内ニ於テ獎勵金ヲ交付ス

第二條 本規程ニ於テ獎勵スル養豚業ハ當市ニ居住スルモノニシテ養豚ヲ副業トス

ルモノヲ謂フ

第三條 獎勵金ハ仔豚購入費ニ對スル二分ノ一以内トシ左記ニ該當スル施設又ハ事

業ヲナストキ之ヲ交付ス

一、豚舎ノ構造ハ別ニ市長之ヲ定ム

二、廐肥ヲ有効ナラシムル施設及事業

三、其ノ他養豚業ノ合理化ニ關スル必要事業

第四條 獎勵金ノ交付ヲ受ケムトスルトキハ申請書ニ左記事項ヲ記載シ三月三十一

日迄ニ市長ニ提出スルト共ニ前條各項ニ對シ検査ヲ申出ヘシ

一、仔豚購入月日

二、全上頭數

三、全上購入先

四、購入價格

第五條 獎勵金額ハ第四條ノ申請ニ依リ市長之ヲ定ム

第六條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタルモノハ翌年三月末日迄ニ事業成績ヲ市長ニ報告スヘシ

第七條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタルモノ本規程ニ違背シ第四條ノ申請書第六條ノ事業成績報告書ニ虚偽ノ記載ヲナシ又ハ事業執行不良ナリト認メタルトキハ交付金ノ一部又ハ全部ノ返還ヲ命スルコトアルヘシ

附 則

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

豚舎ノ構造

- 一、豚舎ノ面積ハ一頭ニ對シ五尺平方以上トス但シ仔豚ノトキハ此限リニアラス
- 二、豚舎ノ清潔ヲ重スルト共ニ糞尿ヲ利用スルニ便利ナラシムルタメ床ハ「コンクリート」造トナシ尿ノ溜リヲ設備スルコト
- 三、豚舎ハ冬季ハ暖ニ夏期ハ冷涼ナラシムル様努ムルコト

松阪市自作農地創定維持資金貸付規程

昭和八年二月一日告示第六號

第一條 自作農地創定維持資金ノ貸付ハ本規定ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ資金ヲ貸付ス

第二條 資金ハ現ニ耕作ニ從事シ自作田畑ノ經營ヲ持續シ得ル見込アルモノニ對シ自作田畑ト爲スヘキ土地ノ購入又ハ維持資金トシテ貸付スルノ外他ニ之ヲ使用スルコトヲ得ス

第三條 本資金ノ貸付ヲ受ケムトスルモノハ左ノ書類ヲ市長ニ提出スヘシ

- 一、第一號様式ニ依ル借入申込書
- 二、購入ノ場合ハ第二號様式ニ依ル土地賣渡豫約書寫維持ノ場合ハ債務ニ關スル証書寫
- 三、第三號様式ニ依ル購入土地小作人ノ同意書寫

第四條 本資金ノ借入申込者カ前條ノ事項ヲ變更シタルトキハ其ノ旨市長ニ届出ツヘシ

第五條 借入申込者ニ對シ貸付ヲナス場合ハ左ノ各號ノ制限ニ依ル

- 一、借受人ハ購入セムトスル土地カ小作地ナル場合ニ於テハ其ノ土地ノ小作人ナルコト但シ購入ニ付キ其ノ土地ノ小作人ノ同意ヲ得タル者ナルトキハ此ノ限ニアラス
- 二、購入セムトスル土地ノ購入價格ハ借受人自作田畑トシテ其ノ土地ノ經營ヲ持續シ得ル爲メ附録ニ定メタル算式ニ依ル標準價格及購入地附近ノ土地ノ普通價格ヲ超エサルモノナルコト
- 三、土地ノ購入ニ際シ其ノ土地ノ小作權ヲ併セ購入スル場合ニ於テハ土地ノ購入價格ニ小作權ノ購入價格ヲ加算シタルモノカ前號ノ標準價格及普通價格ヲ超エサルモノナルコト
- 四、維持セムトスル土地ノ抵當債務額ハ第二號ノ標準價格及普通價格ヲ超エス其ノ購入價格ハ購入當時ニ於ル第二號ノ標準價格ヲ超エサルモノトス
- 五、購入シ又ハ維持セムトスル土地ハ其ノ上ニ自作ノ障碍トナルベキ權利存在セサルモノナルコト購入セムトスル土地ノ上ニ存在スル抵當權ニ付亦同シ
- 六、購入シ又ハ維持セムトスル土地ノ價格ハ四千圓ヲ超エサルモノナルコト但シ現ニ田畑ヲ所有スルモノニ對スル貸付ニ在リテハ其ノ田畑（維持セムトスル田

畑ヲ除ク）ノ價格ト購入シ又ハ維持セムトスル土地ノ價格トノ合計額四千圓ヲ超エサルモノナルコトヲ要ス

七、貸付金額ハ四千圓以内トシ土地ノ購入價格又ハ土地抵當債務額ノ全額トス但シ全額未滿ノ貸付ヲ受ケムトスルモノニ對スル貸付金額ハ其ノ要求額トス

八、貸付金ノ利率ハ年參分五厘トス但シ償還ヲ怠リタルトキハ償還元金百圓ニ付一日四錢ノ遅延利息ヲ徵收ス

九、償還方法ハ一年以内据置二十四ヶ年均等償還トシ毎年九月及三月ノ二回ニ其ノ元利ヲ償還セシム但シ借受人ノ都合ニ依リ期限前ト雖モ其ノ一部又ハ全部ノ償還ヲナスコトヲ得

十、購入シ又ハ維持シタル土地ノ收穫高不可抗力ニ依リ著シク減少シ又ハ皆無トナリタルトキハ借受人ノ事情ニ應ジ償還方法ヲ適當ニ變更ス

十一、購入シ又ハ維持シタル土地ノ全部ノ上ニ貸付金ノ担保トシテ第一抵當權ヲ設定セシムルノ外本市長ニ於テ適當ト認ムル保証人二名ヲ要ス

十二、借受人ハ償還ヲ了リタルトキト雖貸付ノ際決定セラレタル償還期間内及第十號ニ依リ變更セラレタル償還期間内ハ市長ノ承認ヲ得ルニ非サレハ自作ヲナス又ハ第十一號ノ抵當權ヲ除クノ外其ノ土地ノ上ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ得ス

十三、借受人ハ前號ノ期間内其ノ土地ヲ讓渡スルコトヲ得サルモノトス但シ左ノ各號ニ依リ其ノ土地ヲ本市ニ又ハ本市ヲ經テ之ヲ第三者ニ讓渡スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

イ、借受人及同居家族死亡疾病其ノ他己ムヲ得タル事由ニ依リ將來自作田畑ノ經營ヲ持續シ能ハサルニ至リタルトキ

ロ、購入シ又ハ維持シタル土地道路敷其ノ他公共ノ用ニ供セラレタルトキ

十四、前號ノ規程ニヨリ本市ヲ經テ土地ヲ第三者ニ讓渡ス場合ニ於テハ其ノ借受人ハ第二條ノ資格ヲ具備シ且田畑ヲ所有セス又ハ第六號但書ニ該當スル者ニシテ借受人ノ債務ヲ引受クルモノトス

十五、前號ノ借受人ノ選定及讓渡價格ノ決定ハ本市ニ於テ之ヲ行フモノトス前項ノ讓渡價格ノ決定ハ附録ニ定ムル標準價格ヲ超ヘサルモノトス

十六、第十四號ニ依ル借受人ナキ場合ニ於テ其ノ他ノ者ニ土地ヲ讓渡シタルトキハ讓渡ノ際借受人ヲシテ未償還金額ヲ返還セシム

十七、借受人前號ノ規定ニ違反シタルトキハ購入シ又ハ維持シタル土地一反歩又ハ其ノ端數毎ニ金壹百圓ノ割合ヲ以テ違約金ヲ徵收シ且貸付金ノ未償還金額ヲ一時ニ返還セシメ又ハ左ノ金額ヲ以テ土地ヲ先買シ得ルモノトス

イ、購入價格ノ金額ニ相當スル金額ノ貸付ヲナシタル場合ニ於テハ償還ヲ受ケタル金額中元金ニ相當スル金額

ロ、購入價格ノ一部ニ相當スル金額ノ貸付ヲナシタル場合又ハ維持ノため貸付ヲナシタル場合ニ於テハ償還ヲ受ケタル金額中元金ニ相當スル金額ニ貸付當時ニ於ケル其ノ土地ノ價格(購入ノ場合ニ在リテハ購入價格)ト貸付金額トノ差額ヲ加算シタル金額

十六、購入シ又ハ維持シタル土地ヲ競賣處分ニ附セラレ又ハ賣却シテ未償還元金ヲ一時ニ償還スル場合其ノ競落價額又ハ賣却價格カ貸付當時ノ價格ヲ超ユルトキハ其ノ差額ノ全部ヲ本市ニ沒收ス但シ事情ニヨリテハ其ノ差額ノ半額迄減スルコトアルヘシ

第六條 本資金ノ貸付ニ付キ土地價格其ノ他重要ナル事項評定ノ爲調査委員會ヲ設ク委員會ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第七條 貸付ノ決定通知ヲ受ケタル借入申込者ハ第四號様式ニ依ル借用證書ヲ差出シ資金ノ貸付ヲ受クヘシ

第八條 資金ノ貸付ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク土地購入維持ノ手續ヲ了シ所有權移轉又ハ抵當權抹消ニ關スル登記簿ノ抄本ヲ添付シ市長ニ届出ツヘシ

前項ニ依ル所有權移轉又ハ抵當權抹消登記ヲ完了スルコト能ハサル場合ニアリテハ事由ヲ詳具シ市長ノ認可ヲ受クヘシ

第九條 借受人ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ市長ハ其ノ貸付ヲ取消シ又ハ貸付期限内ト雖元利金ノ全部若ハ一部ノ返還ヲ命シ又ハ資金ノ貸付ヲ停止スルコトアルヘシ

- 一、本規程ニ違反シタルトキ
- 二、資金貸付ノ條件ニ違反シタルトキ

第十條 本規程ハ自作田畑ノ創定又ハ維持ヲ行フモノ其ノ事業ニ附隨シテ第五條ノ資格ヲ有スルモノ、爲ニ必要ナル宅地ノ創定又ハ維持ヲ行フ場合ニ之ヲ準用ス但シ宅地トシテ購入シ又ハ維持セムトスル土地ノ面積ハ現ニ所有スル宅地（維持セムトスル宅地ヲ除ク）ノ面積ヲ併セ五畝歩以內トシ其ノ價格又ハ貸付金額ハ五百圓ヲ超エルコトヲ得ス

附 則

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附 錄

第五條第二號ノ算式

減價額 $\frac{\text{小作料金額} - \text{地租及同附加税又ハ之ニ準スルキ地方税}}{0.06227}$

備考

- 一、小作料ハ平年作ニ於ケル實納小作料ニ依ルコト但シ小作料ノ定ナキ土地ニ在リテハ其ノ土地ニ類似スル土地ノ小作料ニ依ルコト
- 小作料カ平年作ニ於ケル收穫高ノ五割五分以上ナル場合ニ於テハ其ノ五割五分ニ相當スル額ヲ以テ小作料ニ代フルコト
- 小作料カ平年作ニ於ケル收穫高ノ四割以下ナル場合ニ於テ農業經營費比較的多カラサルトキ其ノ他特殊ノ事由ナキトキハ收穫高ノ四割迄ノ範圍ニ於テ適宜ノ程度ニ認定シタル額ヲ以テ小作料ニ代フルコトヲ得ルコト
- 二、小作料及收穫高ヲ價格ニ換算スル場合ニ於テハ其ノ物ノ價格ハ當該地方ニ於ケル最近五ヶ年ノ平均價格ヲ用フルコト
- 三、小作權賣買ノ慣行アル地方ニ於テ土地ノ購入ニ際シ其ノ土地ノ小作權ヲ併

七購入スル場合ニ於テハ小作料ハ小作權ノ賃借料(又ハ小作料)ヲ含ムモノ
ヲ以テスルコト

第五條第十五號ノ算式

$$\frac{\text{譲渡價格} - \text{償還済元金}}{\text{購入價格}} \times \text{譲渡當時ノ標準價格}$$

備考

- 一、償還済元金トハ市カ償還ヲ受ケタル金額中元金ニ相當スル金額
- 二、標準價格トハ附録第五條第二號ノ算式ニ依リ算出シタル價格(其ノ價格時價ヲ超ユル場合ニ於テハ時價)トス
- 三、維持ノ爲ニ貸付ヲ受ケタル土地ニ在リテハ購入價格ノ代リニ貸付當時ニ於ケル標準價格(標準價格カ其ノ當時ニ於ケル時價ヲ超ユル場合ハ時價)ヲ用フルコト
- 四、購入價格(維持ノ場合ニ在リテハ前號ノ價格)ノ一部ニ相當スル金額ノ貸付ヲナシタル場合ニ於テハ「償還済元金」ノ代リニ「償還済元金ニ購入價格(維持ノ場合ニ在リテハ前號ノ價格)ト貸付金額トノ差額ヲ加算シタル金額」ヲ用フルコト

第一號様式

自作農地創定維持資金借入申込書

一、金額	金	圓也
二、用途	別紙調書借入金用途明細書ノ通 創定資金 維持資金	
三、借入希望期日	昭和	年 月 日

右本市自作農地創定維持資金貸付規程ニ依リ御貸付相成度別紙調書相添此段申込候也

昭和 年 月 日

住所

借入申込者 氏

名 印

殿

- 四、小作料ハ平年作ニ於ケル實納小作料ヲ記載スヘシ但シ小作料ノ定ナキ土地ニ在リテハ其ノ土地ニ類似スル土地ノ小作料ヲ記載スヘシ
- 五、小作料現物納入ナル場合及收穫高ヲ收穫物ノ量ヲ以テ表示シタル場合ニ於テハ其ノ物ノ價格ヲ備考欄ニ記載スヘシ
- 六、收穫物及小作料トシテ支拂フ現物ノ價格ハ當該地方ニ於ケル最近五ケ年平均價格ニ依ルヘシ
- 七、借入申込者ノ簡易生命保險加入年月日種類月割保險料ハ備考欄ニ記載スヘシ
- 八、維持豫定地ニ對スル債務額ハ借入別ニ区分シ其ノ年月日金額抵當權ノ設定順位現在未償還金額、借入先ヲ備考欄又ハ調書餘白ニ記載スヘシ

(ハ) 所有土地

地目別	反別	價格	反當價格		所有者氏名	質權、 自作ノ 障礙トナル ヘキ權利ノ有無	現在耕作地反別
			最高	平均			
畑							

計	宅地	其他

備考

同居家族ノ分モ各人別ニ所有者氏名欄ニ記載スルコト

第二號様式

土地賣渡豫約書

- 市大字 字 地番
- 一、地目面積 此代金 賃貸價格

右土地貴殿ニ於テ何年度本市自作農地制定維持資金ノ貸付ヲ受ケラレタル上ハ前記代金ヲ以テ賣渡シ所有權移轉登記可致豫約候也

年月日

住所

氏

名 印

住所

氏 名 宛

第三號様式

同意書

市大字 字 地番

一、地目面積

住所

土地所有者 氏

名

右土地ハ現在拙者ニ於テ賃借小作中ニ候モ市自作農地創定維持資金ヲ以テ買受所
有權移轉相成候上ハ小作ヲ廢シ直ニ引渡スヘキコトヲ同意候也

年 月 日

住所

氏 名 宛

住所

小作者 氏

名 印

第四號様式

自作農地創定維持資金並抵當權設定證書

一金

但シ本資金ヲ以テ借入（維持）スヘキ土地別表表示ノ通

前記ノ金額ヲ自作農地創定維持資金ニ使用シ且左ノ事項ニ從ヒ借受クヘキ契約ニ
テ本日正ニ受領致候ニ付テハ債務辨濟ノ担保トシテ別紙表示ノ不動産ニ第一番抵
當權ヲ設定致候而シテ松阪市自作農地創定維持資金貸付規程ニ依リ左ニ列記セル
條件ニヨリ相違ナク義務履行可致候仍テ爲後日借用証書差上置候也

- 一、借入金ハ昭和 年三月三十一日迄据置昭和 年 月 日ヨリ同年三月三十
一日迄ニ元利金ヲ半年賦償還スヘシ

- 二、前號ノ償還方法ハ購入（維持シタル）土地ノ收穫高不可抗力ニ依リ著シク減少シ又ハ皆無トナリタルトキハ借受人ノ事情ニ應シ市長ノ同意ヲ得テ適當ニ變更スルコトヲ得ヘシ
- 三、本債務ノ利息ハ年三分五厘トシ据置期間中ノ利息ハ昭和 年三月三十一日迄ニ之ヲ辨済スヘシ
- 四、半年賦金ハ
ト定メ別紙償還年次表ニ依リ毎年度九月三十日三月三十一日ノ二回ニ之ヲ辨済スヘシ但シ最終半年賦金ハ
トス
- 五、借入金ノ全部ヲ期限前ニ償還セムトスルトキハ本市長ノ同意ヲ求ムヘシ此ノ場合ニ於テハ前回償還シタル年賦金ノ償還期日ノ翌日ヨリ償還當日迄ノ利息ヲ日割計算ニ依リ支拂フヘシ
- 六、元利金ノ辨済期日又ハ期限前償還ヲ命セラレタル場合ニ於テ本市ノ指定シタル期日ニ元利金ノ辨済ヲナサ、ルトキハ其ノ期日ノ翌日ヨリ辨済當日迄償還スヘキ元金ニ對シ百圓ニ付キ一日四錢ノ割合ニ當ル遅延利息ヲ支拂フヘシ
- 七、借入金ノ全部ヲ期限前ニ償還シタル場合ト雖第一號及第二號ノ償還期間内ハ本市長ノ承認ヲ得ルニ非サレハ自作ヲ爲サス又ハ本抵當權ヲ除クノ外其ノ土地ノ上ニ抵當權ヲ設定セサルモノトス

- 八、第一號ノ償還期間内ハ其ノ土地ヲ本市ニ又ハ本市ヲ經テ之ヲ第三者ニ讓渡スルノ外其ノ土地ヲ讓渡セサルモノトス
- 九、本契約ニ違反シタル場合ニ於テハ本抵當物件一反歩又ハ其ノ端數毎ニ金百圓ノ割合ヲ以テ違約金ヲ徵收スルノ外未償還元金ヲ一時ニ返還ヲ命シ又ハ左ノ金額ヲ以テ本抵當物件ヲ本市ニ先買スルモノトス但シ違約金ハ事情ニ依リ斟酌スルコトヲ得
- イ、購入價格ノ全額ニ相當スル金額ノ貸付ヲ爲シタル場合ニ於テハ償還ヲ受ケタル金額中元金ニ相當スル金額
- ロ、購入價格ノ一部ニ相當スル金額ノ（維持ノため）貸付ヲ爲シタル場合ニ於テハ償還ヲ受ケタル金額中元金ニ相當スル金額ニ貸付當時ニ於ル其ノ土地ノ（購入）價格ト貸付金額トノ差額ヲ加算シタル金額
- 十、本抵當物件ヲ競賣處分ニ附セラレ又ハ賣却シテ未償還元金ノ一時ニ償還スル場合其ノ競落價額又ハ賣却價額カ購入（貸付）當時ノ價額ヲ超ユルトキハ其ノ差額ノ全部ヲ本市ニ沒收ス但シ事情ニ依リテハ其ノ差額ノ半額迄減スルコトアルヘシ

昭和 年 月 日

市長 殿

住所
債務者 氏 名 印

借入金元利償還年次表

年次	昭和年度		計	備考
	三月	九月		
昭和年度三月				
昭和年度九月				
合計				

松阪市産業統計調査規程

昭和八年五月十日規程第五號

第一條 本市ハ大正十四年農林省令第二十五號同統計報告規程並ニ同年商工省令第十一號同産業報告規則及昭和五年三重縣令第二十七號産業統計報告規程ニ則リ當市内ノ産業並ニ消費狀態ヲ審ニシ且市内一般ニ統計思想ノ普及ヲ圖リ以テ統計ノ正確ヲ期スル爲本規程ノ定ムル所ニ依リ統計調査ヲ行フモノトス

第二條 前條ノ統計調査ヲ行フ爲左記ノ通り調査區域ヲ設定ス

第一、商工ニ屬スル調査

(市街地調査) 統計吏員之ニ當ル

第二、農業家畜ニ關スル調査

(農業地調査) 統計調査員之ニ當ル

第一區 日野町二丁目

第二區 東西岸江

第三區 町作

第四區 鎌田、石津、荒木

第五區 大口、高町屋、郷津

第六區 田原、大津、幸生、清生

第七區 垣鼻第一、第二、第三

第八區 久保

第九區 下村

第十區 上川、高田

第三條 本市ニ統計主任並ニ副主任ヲ置ク

統計主任ハ勸業係主任ヲ充テ副主任ハ統計吏員ヲ以テ之ニ充ツ

第四條 統計主任ハ市長ノ命ヲ受ケ部内ニ於ケル産業上ノ統計材料蒐集調査並ニ報告發表等一切ノ統計事務ヲ整理ス

第五條 第二條ノ調査區ニ各一名ノ調査員ヲ置ク但シ時宜ニ依リ調査員ヲ増減スルコトアルヘシ

第六條 調査員ハ市長之ヲ囑託ス

第七條 調査員ハ市長及統計主任ノ指揮監督ヲ受ケ其ノ擔當區ニ於ケル産業統計上ノ一切ノ事務ニ従事スルモノトス

第八條 調査事務ニ従事スルモノハ常時擔當區内ノ産業其ノ他ノ状態ヲ查察シ又ハ必要ニ應ジ各種趣旨ヲ徹底セシメ相互ニ意志ノ疏通ヲ圖リ統計ノ正確ヲ期スルヲ要ス

第九條 調査員ノ蒐集シタル統計材料ハ目的以外ニ使用セサルモノトシ總テ秘密扱トシ他ニ漏スヘカラズ

第十條 調査員ハ關係諸規則ニ通曉シ調査ニ臨ミテハ懇切ヲ旨トシ材料提供者ヲシテ不快ノ念ヲ起サシメサル様注意ヲ要ス

第十一條 市長ハ毎年一回以上調査員ヲ招集シテ調査方法ヲ指示シ又ハ關係法規ノ研究其ノ他事務上ノ打合セラナスモノトス

第十二條 調査員ニハ毎年豫算ノ範圍内ニ於テ手當金ヲ支給ス

附 則

本規程ハ昭和八年五月十日ヨリ實施スルモノトス

第六類
學
事

1911

Faint vertical text, likely bleed-through from the reverse side of the page.

小學校授業料徴收規程

昭和八年二月一日告示第六號

第一條 本市ハ本市小學校高等科兒童ニ對シ授業料ヲ徴

第二條 本市小學校高等科在學ノ兒童保護者ハ左記授業料ヲ納付スヘシ
一ヶ月 金參拾錢

第三條 就學困難ナル兒童ニ對シテハ授業料ヲ減免スルコトアルヘシ

第四條 學校ノ都合ト兒童ノ都合タルトヲ問ハス全ク出席セサル月ハ授業料ヲ徴收
セス

第五條 授業料ノ納付期日ハ毎月二十日トス但シ休日ニ當ルトキハ繰上ケトス
納付期日後入學シ又ハ期日前退學スルモノニ對シテハ其ノ都度之ヲ徴收ス

附 則

本規定ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

松阪市立實科專修女學校授業料徴收規程

昭和八年二月一日告示第六號
同 年四月二十日改正決議
同 三月三十日許可
同 六月一日規程第九號

第一條 本市ハ本市立實科專修女學校生徒ニ對シ授業料ヲ徴收ス

第二條 本市立實科專修女學校在學生徒ノ保護者ハ左記授業料ヲ納付スヘシ
一ヶ月 金五拾錢

第三條 授業料ハ法律命令ニ因ルノ外何等ノ事情アルモ減免セス

第四條 學校ノ都合ト生徒ノ都合タルトヲ問ハス全ク出席セサルトキハ授業料ヲ徴收セス

第五條 授業料ノ納付期日ハ毎月二十日トス但シ休日ニ當ルトキハ之ヲ繰上ク
納付期日後入學シ又ハ期日前退學スルモノニ對シテハ其ノ都度之ヲ徴收ス

附 則

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附 則

本規程ハ昭和八年度ヨリ之ヲ施行ス

松阪市立神戸實業補習學校授業料徴收規程

昭和八年二月一日告示第六號

第一條 本市ハ本市立神戸實業補習學校女子部在學生徒ニ對シテ授業料ヲ徴收ス

第二條 本市立神戸實業補習學校女子部在學生徒ノ保護者ハ左記授業料ヲ納付スヘシ

一ヶ月 金參拾錢

第三條 授業料ハ法律命令ニ因ルノ外何等ノ事情アルモ之ヲ減免セス

第四條 學校ノ都合ト生徒ノ都合タルトヲ問ハス全ク出席セサルトキハ授業料ヲ徴收セス

第五條 授業料ノ納付期日ハ毎月二十日トス但シ休日ニ當ルトキハ之ヲ繰上ク納付期日後八學シ又ハ期日前退學スル者ニ對シテハ其ノ都度之ヲ徴收ス

附 則

本規程ハ之ヲ公布ノ日ヨリ施行ス

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

松阪市幼稚園保育料徴收規程

昭和八年二月一日告示第六號

- 第一條 本市ハ本市幼稚園兒童ニ對シ保育料ヲ徴收ス
 - 第二條 本市幼稚園在園ノ兒童保護者ハ左記保育料ヲ納付スヘシ
 壹ヶ月 金壹圓五拾錢
 - 第三條 保育料ハ法律命令ニ因ル外何等ノ事情アルモ之ヲ減免セス
 - 第四條 幼稚園ノ都合ト兒童ノ都合タルトヲ問ハス全ク出席セサル月ハ保育料ヲ徴收セス
 - 第五條 保育料ノ納付期日ハ毎月二十日トス但シ休日ニ當ルトキハ繰上ケトス
 納付期日後入園シ又ハ期日前退園スルモノニ對シテハ其ノ都度之ヲ徴收ス
- 附 則
 本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一條 本市ニ於ル貧困ノ爲就學困難ナル學齡兒童ニ對シ三重縣恩賜兒童就學獎勵
 規程ニヨル交付金並ニ市費ヨリ支出ノ獎勵金ヲ交付ス
 第二條 本獎勵金ハ毎年度市費歳入出豫算中ニ定ムルモノトス
 第三條 市長ハ左記要項ニ依リ毎年度貧困兒童ヲ調査シ認定ス
 イ、兒童ノ屬スル家ノ家族數(戸主トノ續柄氏名生年月日)
 ロ、納稅狀況(市ニ於ル特別稅戶數割最高最低平均額及世帯主若ハ保護者ノ納稅
 額)
 ハ、生計狀態
 第四條 毎年度交付スヘキ金額ハ前各條ニ依リ市長ニ於テ決定ス
 第五條 交付スヘキ獎勵金ノ支途ハ衣食費ノ補給學用品費トシ此ノ旨交付書ニ明示
 スルモノトス但シ事情ニ依リ現品ヲ以テ交付スルコトアルヘシ
 第六條 獎勵金ノ交付後必要ニ應シ第三條ニ依ル調査ヲナシ交付金額ノ増減若ハ停

松阪市貧困児童就學獎勵金交付規程

松阪市貧困児童就學獎勵金交付規程

昭和八年二月一日告示第六號

- 第一條 本市ニ於ル貧困ノ爲就學困難ナル學齡兒童ニ對シ三重縣恩賜兒童就學獎勵
規程ニヨル交付金並ニ市費ヨリ支出ノ獎勵金ヲ交付ス
- 第二條 本獎勵金ハ毎年度市費歳入出豫算中ニ定ムルモノトス
- 第三條 市長ハ左記要項ニ依リ毎年度貧困兒童ヲ調査シ認定ス
イ、兒童ノ屬スル家ノ家族數(戸主トノ續柄氏名生年月日)
ロ、納稅狀況(市ニ於ル特別稅戶數割最高最低平均額及世帯主若ハ保護者ノ納稅
額)
ハ、生計狀態
- 第四條 毎年度交付スヘキ金額ハ前各條ニ依リ市長ニ於テ決定ス
- 第五條 交付スヘキ獎勵金ノ支途ハ衣食費ノ補給學用品費トシ此ノ旨交付書ニ明示
スルモノトス但シ事情ニ依リ現品ヲ以テ交付スルコトアルヘシ
- 第六條 獎勵金ノ交付後必要ニ應シ第三條ニ依ル調査ヲナシ交付金額ノ増減若ハ停

止ヲナスコトアルヘシ

附 則

本規定ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

青洲市青年訓練所職員ニ對スル手當及旅費ハ本規程ニ定ムル所ニ依リ之ヲ給與ス

青年訓練所給與規程

昭和八年二月一日告示第六號

第一條 本市青年訓練所職員ニ對スル手當及旅費ハ本規程ニ定ムル所ニ依リ之ヲ給與ス

第二條 月手當ハ毎月二十一日ニ年手當ハ毎年度半ケ年分ヲ九月及三月ノ各二十一日ニ支給ス但シ支給當日休日祭日ニ相當スルトキハ之ヲ繰下ケ其ノ翌日トス

第三條 新ニ任免セラレタル者ニ對スル手當ノ支給ハ任命ノ翌日ヨリ日割ヲ以テ計算シ退職ノ場合ハ其ノ當月分迄ノ全額ヲ支給ス

増給又ハ減給ノモノハ發令ノ翌日ヨリ日割計算ヲ以テ之ヲ支給ス
第四條 病氣若ハ事故等ノ爲缺勤三十日ヲ超ユルモノハ手當ノ三分ノ一ヲ減シ六十日ヲ超ユルモノハ二分ノ一ヲ減シ九十日ヲ超ユルモノニ對シテハ之ヲ支給セス

第五條 旅費ハ小學校正教員ノ旅費ニ準シ之ヲ支給ス
野外訓練ノ爲松阪市地域外ニ出張スル場合ニ在リテハ前項ノ規程ニ依ラズ日額金壹圓ヲ支給ス

附則

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
第一條 本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
第二條 本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
第三條 本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
第四條 本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
第五條 本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
第六條 本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
第七條 本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
第八條 本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
第九條 本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
第十條 本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

青平圖書刊行所

松阪記念館規程

昭和八年二月一日告示第六號

- 第一條 松阪市記念館ハ階下ニ圖書部ヲ設ケ内外古今ノ圖書ヲ蒐集シ公衆ノ閲覽ニ供シ階上ハ隨時一般ノ會合ニ貸與スルヲ以テ目的トス
- 第二條 階上ヲ使用セムトスルモノハ豫メ市理事者ノ許可ヲ受クヘシ
- 第三條 圖書部ハ毎日午前八時之ヲ開キ午後五時之ヲ閉ス但シ時宜ニ依リ伸縮スルコトアルヘシ
- 第四條 圖書部休日ヲ定ムルコト左ノ如シ
 - 一、一月一日
 - 一、本館記念日十一月十五日
 - 一、毎月末日
- 第五條 本館ノ圖書ヲ閲覽セムトスルモノハ閲覽用紙ニ指定ノ記入ヲナシ係員ニ差出シ圖書ヲ借受ケ退館ノ際之ヲ返納スヘシ
- 第六條 閲覽スル圖書ノ員數ハ同時ニ貳種拾冊ヲ定限トス但シ特別ノ事情アルモノ

ハ定限外ノ貸付ヲナシ又ハ檢冊ノ自由ヲ與フルコトアルヘシ

第七條 閱覽室ニ於テハ左ノ事項ヲ嚴守スヘシ

一、閱覽圖書ヲ室外ニ持出スヘカラス

一、音讀、談笑其ノ他喧騒ノ行爲アルヘカラス

一、喫煙及飲食スヘカラス

第八條 圖書ヲ紛失若クハ汚損シタルトキハ同一ノ圖書若クハ相當ノ代價ヲ辨償セシムヘシ

第九條 本規定ニ違背シ又ハ係員ノ指示ニ從ハサルモノニハ退館ヲ命ス

第十條 圖書ヲ寄贈セムトスルモノハ寄贈申込書ニ圖書名卷冊價格住所氏名ヲ記載シ現品ト共ニ本館ニ送致スヘシ

第十一條 本館ニ於テ寄贈ヲ受ケタルトキハ寄贈者ノ氏名ヲ標記シ且ツ寄贈者芳名簿ニ登錄スルモノトス

第十二條 金員ノ寄贈ニ付テハ前二條ノ手續ニ準ス

第十三條 圖書ノ保管ヲ寄託セムトスル者ハ本規程ニヨリ其ノ圖書名卷冊價格等ヲ詳記シタル申込書ヲ差出シ本館ノ承諾ヲ得タル後現品ヲ回付スヘシ

第十四條 本館ニ於テ圖書ノ寄託ヲ受ケタルトキハ保管證ヲ交付スヘシ

第十五條 寄託ノ圖書ハ本館所藏ノ圖書ト同一ノ取扱ヲナスモノトス

第十六條 寄託ノ圖書ハ鄭重ニ取扱ヲナスモ天變地異等避クヘカラサル災害ニ依リ受タル損害ハ本館其ノ責ニ任セス